

2010年度（11年3月期） 第1四半期決算概要

2010年7月28日

日本電気株式会社

(<http://www.nec.co.jp/ir/ja>)

人と地球にやさしい情報社会を
イノベーションで実現する
グローバルリーディングカンパニー

NECグループビジョン2017

目次

- . 第1四半期実績
- . 業績予想サマリー

《参考》

業績予想（補足）

. 第1四半期実績

第1四半期 実績サマリー

(単位:億円)

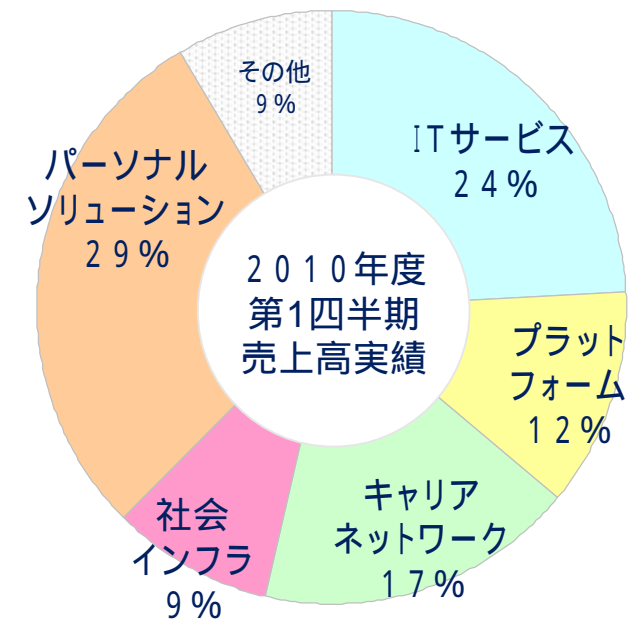
	第1四半期		
	09年度 実績	10年度 実績	前年 同期比
売上高	7,785	6,675	14.2%
営業損益 対売上高比率 (%)	400 -	232 -	168
経常損益 対売上高比率 (%)	450 -	405 -	46
当期純損益 対売上高比率 (%)	338 -	431 -	93
フリーキャッシュフロー	475	422	52

参考：第1四半期の売上平均為替レート(実績) 1ドル = 91.88円、1ユーロ = 120.97円

セグメント別 第1四半期実績サマリー

(単位:億円)

		第1四半期		
		09年度 実績	10年度 実績	前年 同期比
I T サービス	売上高	1,676	1,612	3.8%
	営業損益	6	57	51
	営業利益率 (%)	-	-	
プラットフォーム	売上高	739	800	8.3%
	営業損益	141	44	97
	営業利益率 (%)	-	-	
キャリアネットワーク	売上高	1,417	1,168	17.6%
	営業損益	5	60	65
	営業利益率 (%)	0.4%	-	
社会インフラ	売上高	572	584	2.0%
	営業損益	7	3	10
	営業利益率 (%)	-	0.6%	
パーソナルソリューション	売上高	1,949	1,935	0.7%
	営業損益	89	4	93
	営業利益率 (%)	4.6%	-	
その他	売上高	1,431	576	59.8%
	営業損益	247	11	235
	営業利益率 (%)	-	-	
消去・配賦不能	営業損益	94	60	35
	売上高	7,785	6,675	14.2%
	営業損益	400	232	168
営業利益率 (%)	-	-		
合 計	売上高	7,785	6,675	14.2%
	営業損益	400	232	168
	営業利益率 (%)	-	-	

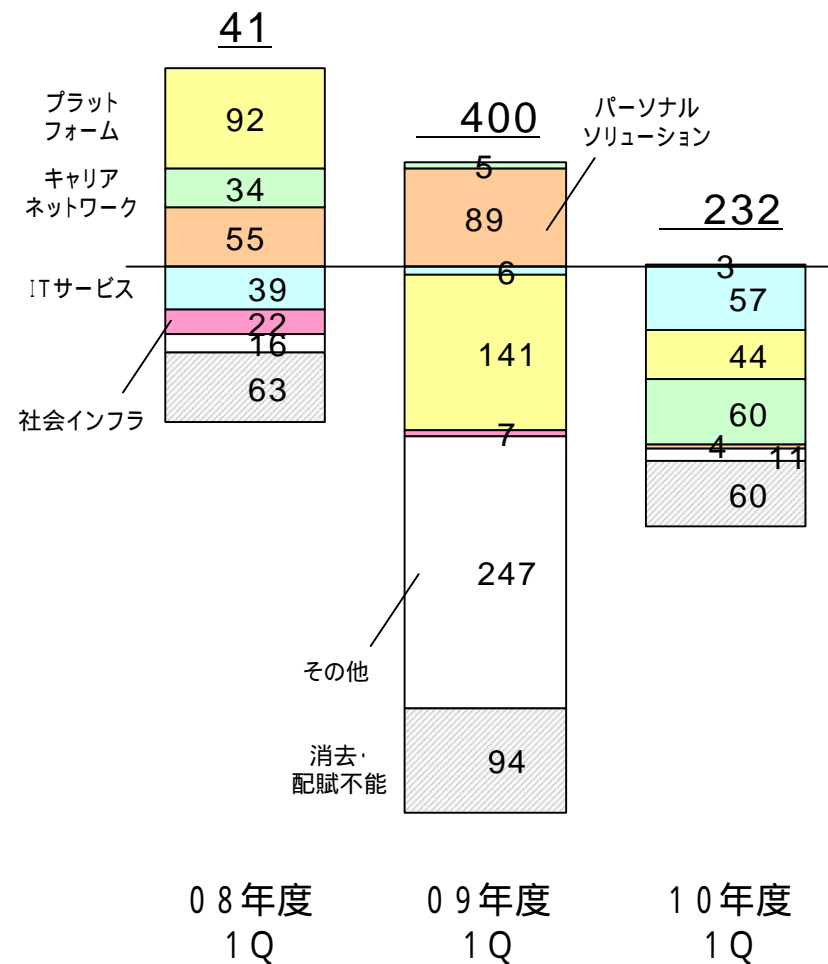
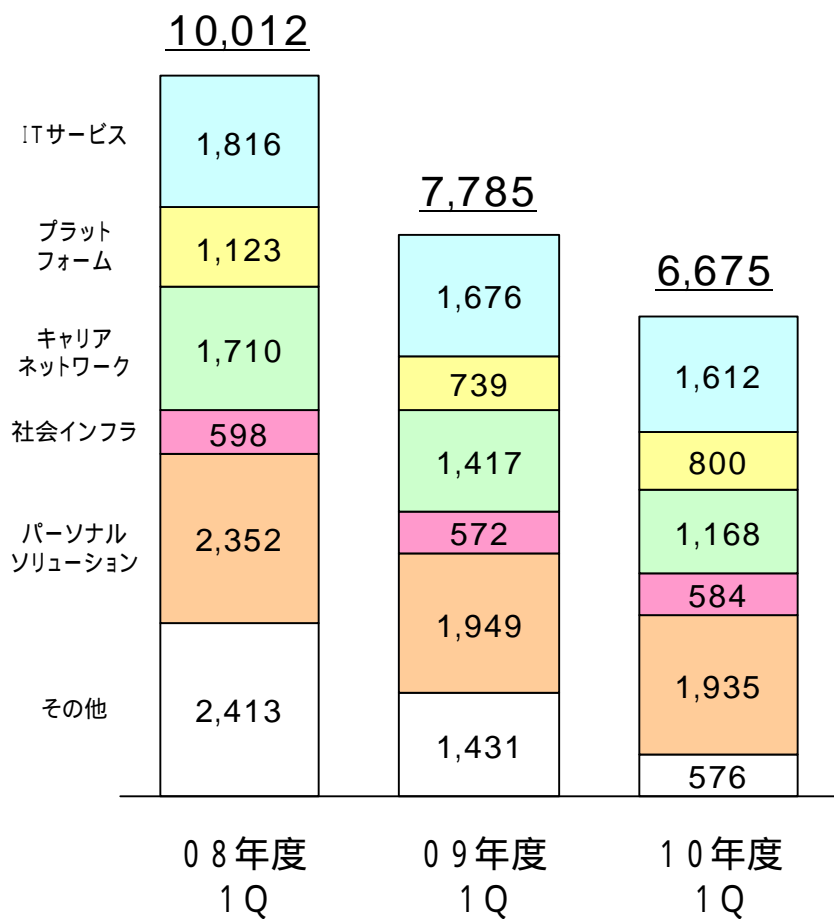


セグメント別実績 第1四半期実績

(億円)

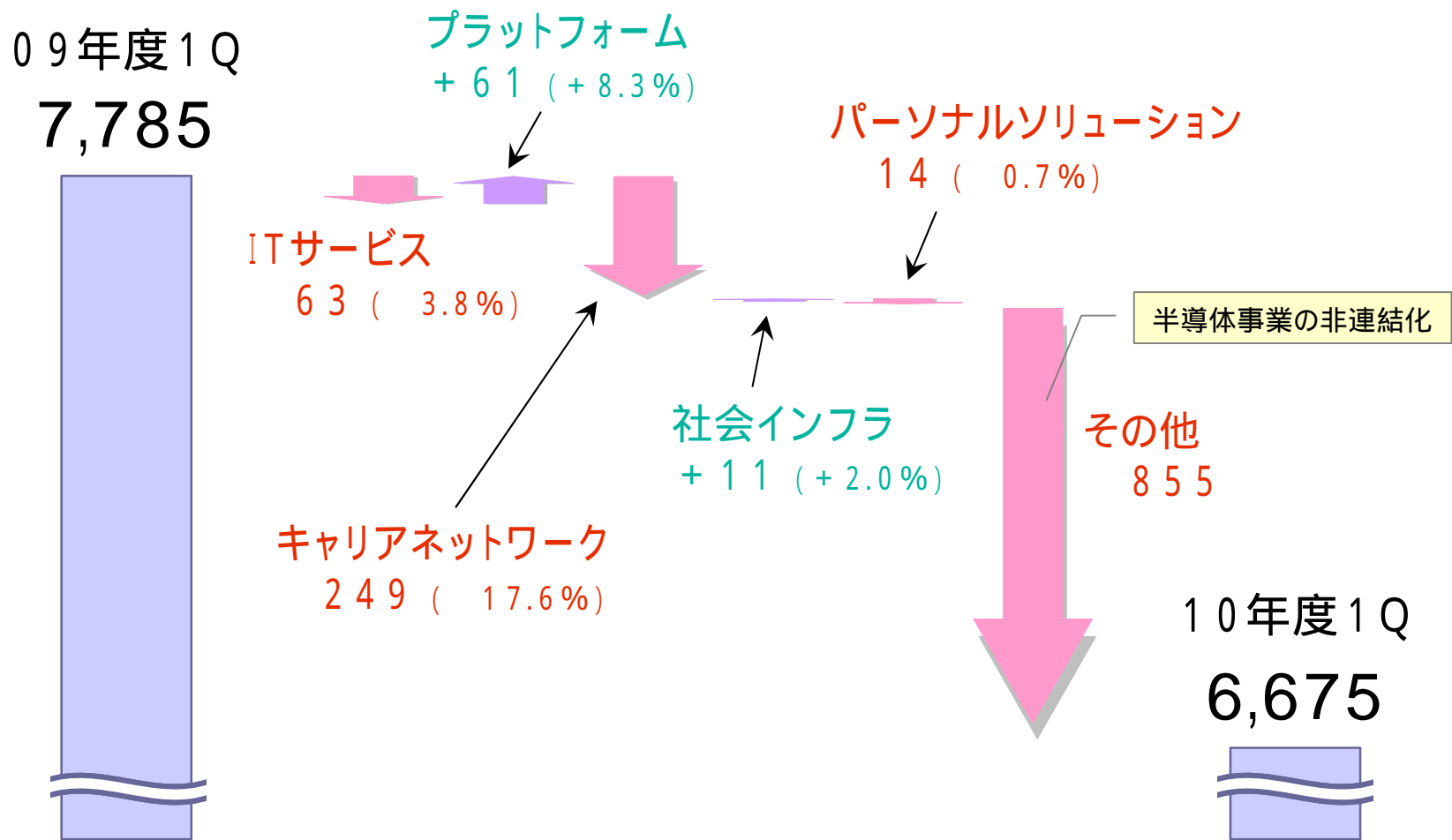
売上高

営業損益



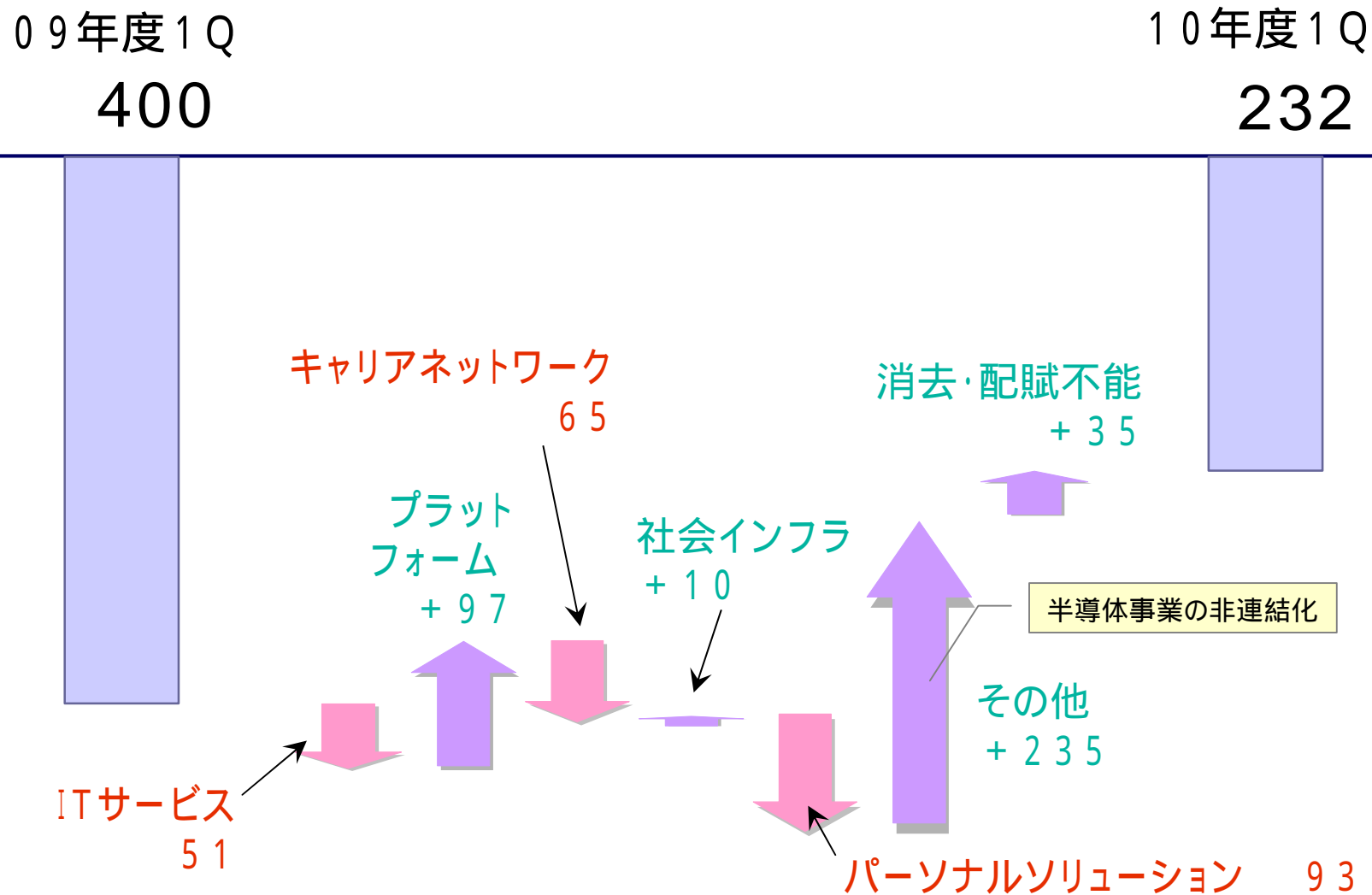
売上高実績増減 (前年同期比)

(億円)



営業損益実績増減 (前年同期比)

(億円)

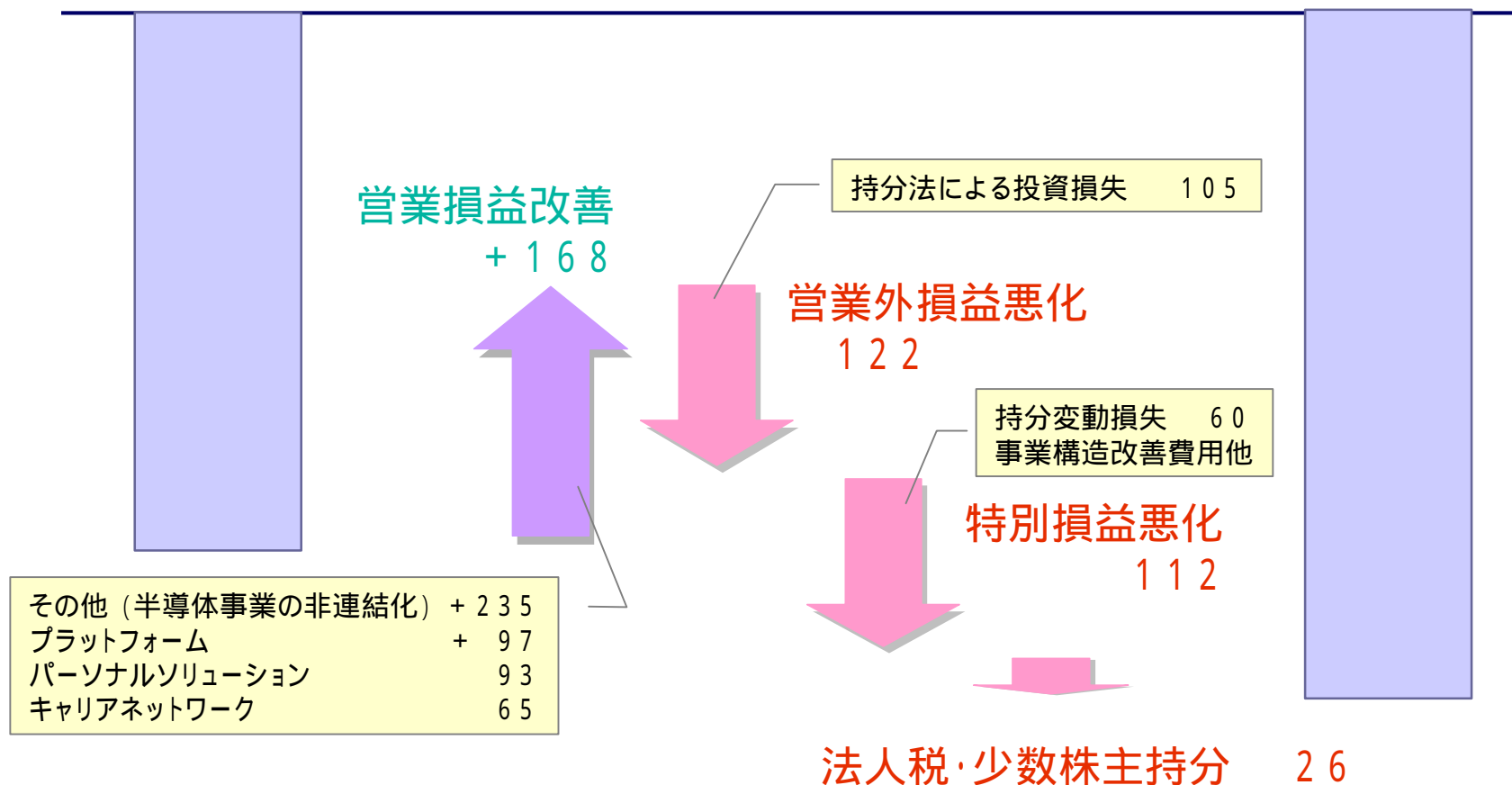


当期純損益実績増減 (前年同期比)

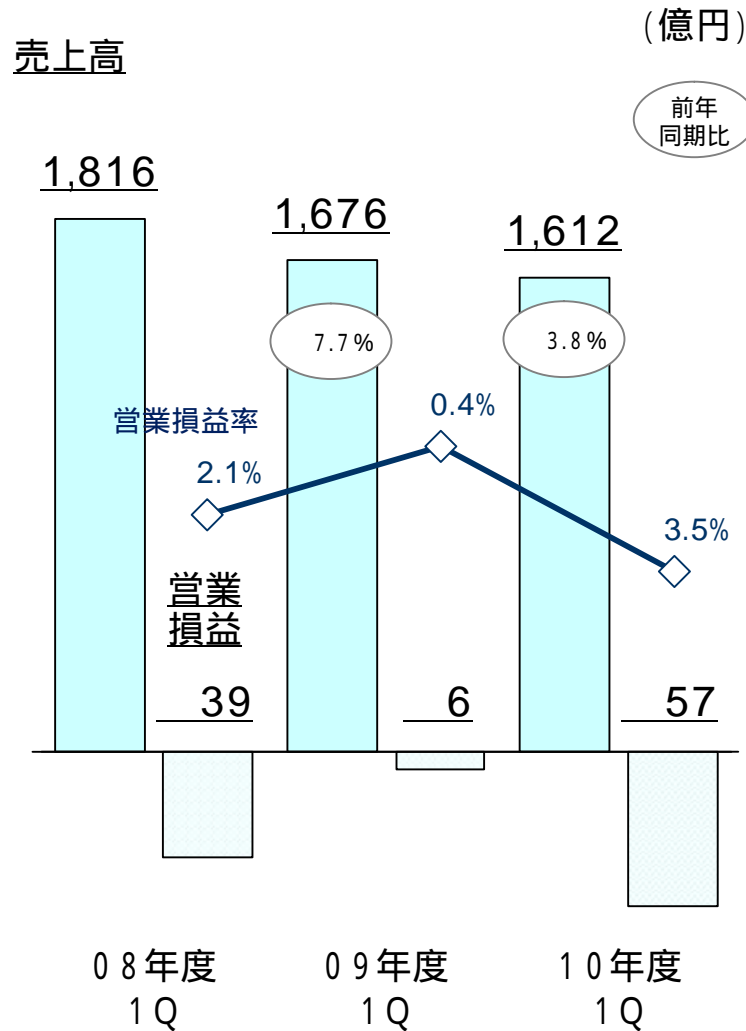
(億円)

09年度1Q
338

10年度1Q
431



セグメント別の状況



売上高 1,612億円 (3.8%)

▽ SIサービス :

投資抑制継続の影響により減収
金融業・製造業向けは改善傾向

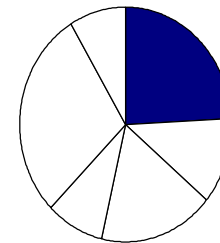
▽ アウトソーシング/サポートサービス :

サポートサービスが減収となるも
アウトソーシングは堅調

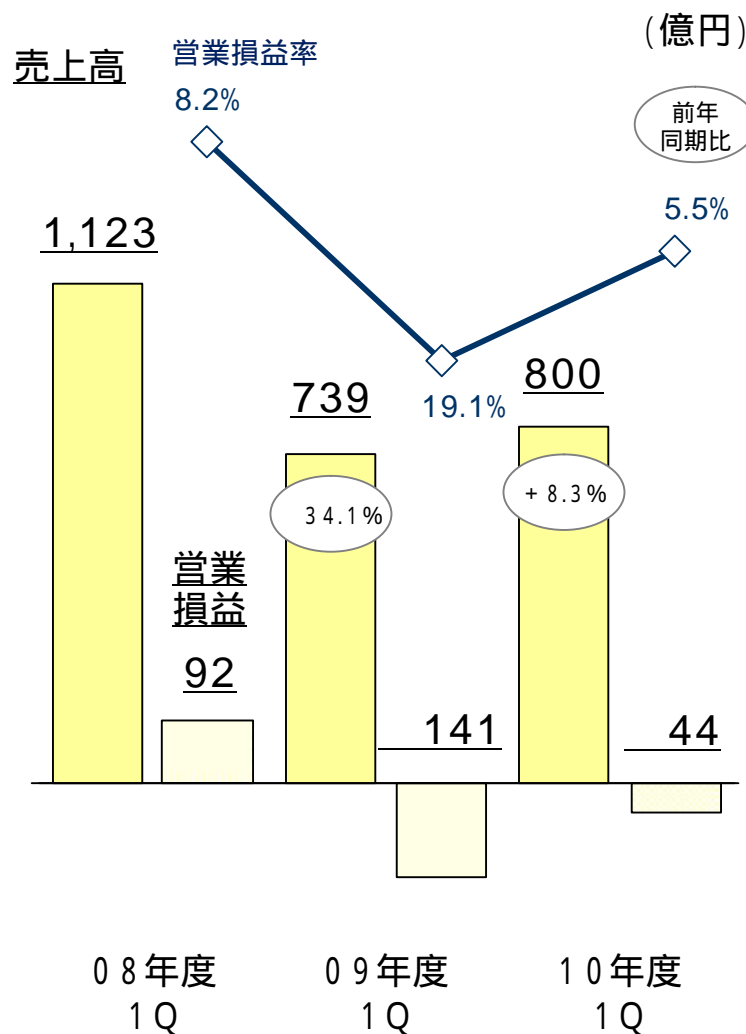
営業損益 57億円 (51億円)

▽ 売上減や成長に向けたクラウド関連の
投資増により減益

売上高構成比
(10年度1Q)
24%



プラットフォーム事業



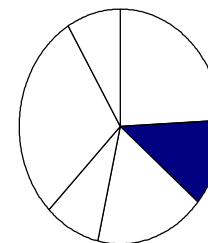
売上高 800億円 (+8.3%)

- △ ソフトウェア：
投資抑制傾向は継続するも、仮想化によるシステム統合、セキュリティ領域を中心に増収
- ▷ ハードウェア：
IAサーバやUNIXサーバが堅調に推移し、前年同期並を確保
- △ 企業ネットワーク：
国内外での緩やかな投資回復により、増収

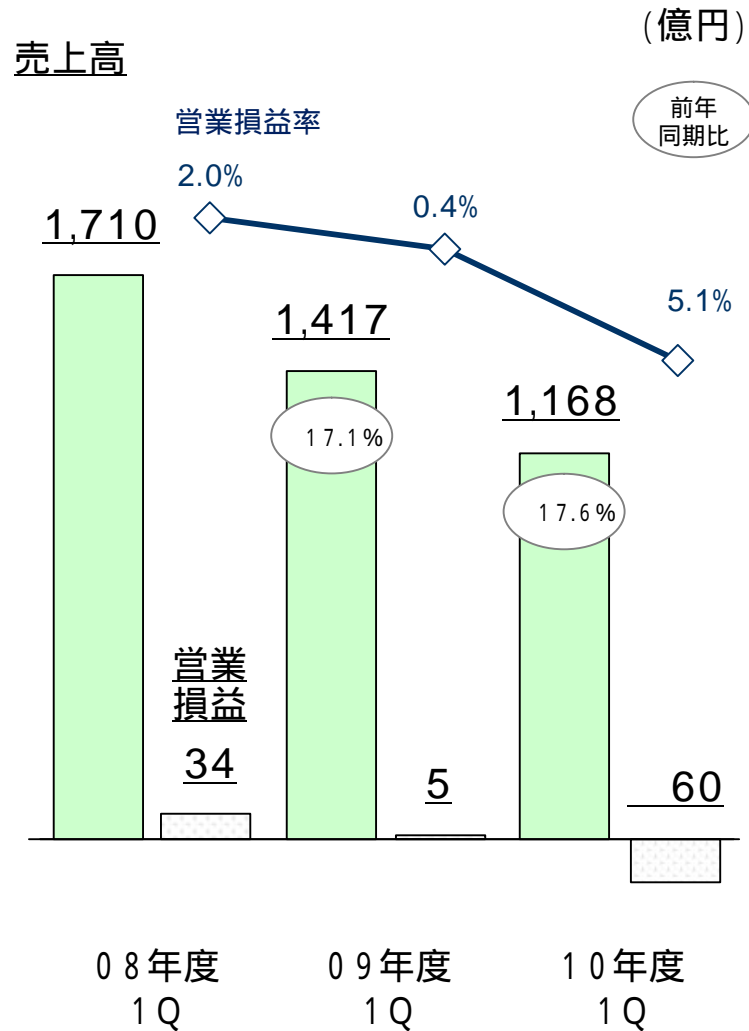
営業損益 44億円 (+9.7億円)

- △ 売上の増加や継続的な費用削減などにより大幅に改善

売上高構成比 (10年度1Q)
12%



キャリアネットワーク事業



売上高 1,168億円 (17.6%)

▽ 国内 :

移動は前年同期並みを維持するも
固定はNGNのエリア展開のための投資
一巡などの影響により減少

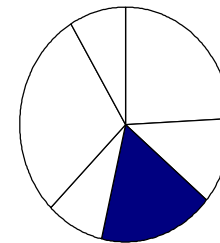
▽ 海外 :

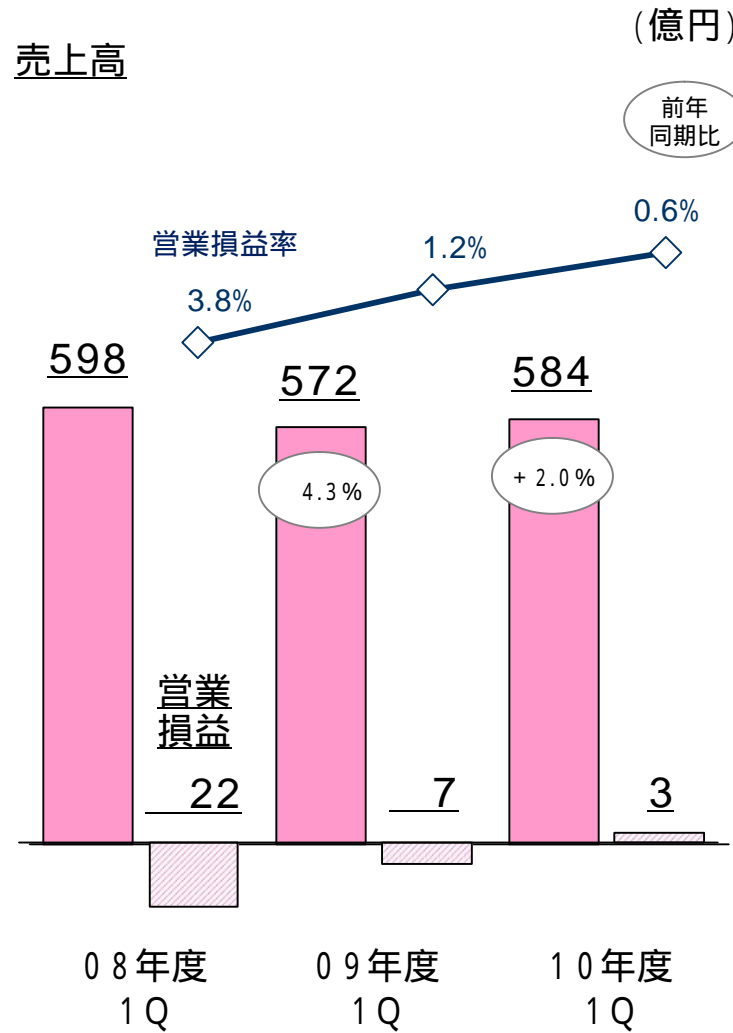
海洋システムの契約遅れに伴い減少

営業損益 60億円 (65億円)

▽ 主に海洋システムの減収に伴い減益

売上高構成比
(10年度1Q)
17%





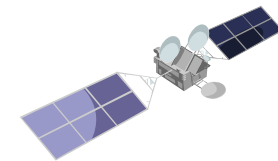
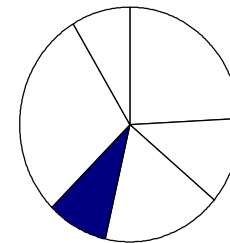
売上高 584億円 (+2.0%)

△ 交通・消防など社会システム分野が堅調に推移し増収

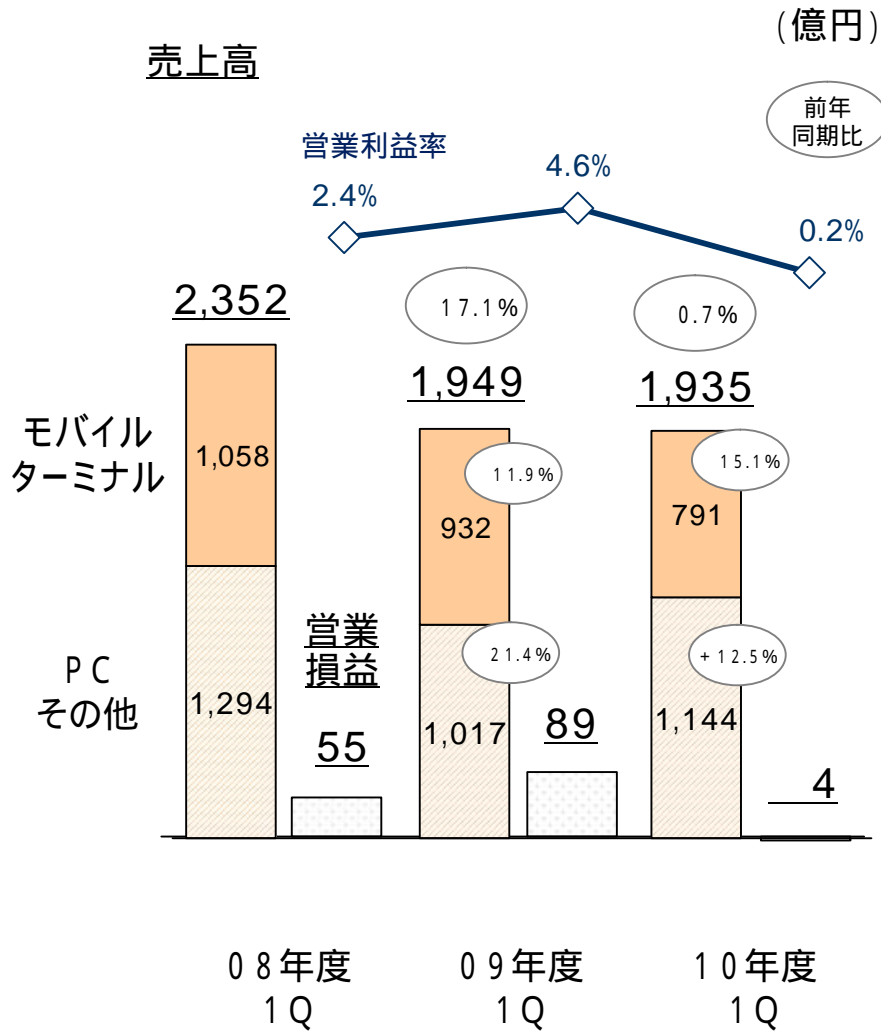
営業損益 3億円 (+10億円)

△ 売上高の増加およびコスト低減活動の推進などにより増益

売上高構成比 (10年度1Q) 9%



パーソナルソリューション事業



売上高 1,935億円 (0.7%)

▽ モバイルターミナル：

国内市場が伸びない中、競争激化により減収

△ PCその他：

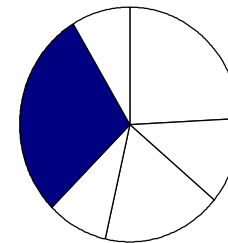
ビジネス系商品（ビジネスPC・ディスプレイなど）や個人向け高付加価値PCの好調により増収

営業損益 4億円 (93億円)

▽ 携帯電話機の売上減および

LifeTouchなど新端末開発費用の増加により減益

売上高構成比
(10年度1Q)
29%



第1四半期総括（まとめ）

- 売上高（計画比）は、キャリアネットワークを中心に未達
- 営業損益（計画比）は、キャリアネットワークが若干未達となったものの、プラットフォーム、社会インフラなどが上振れ、全体で過達
- V2012の注力領域“クラウド”、“グローバル”、“新規事業”の拡大に向けて具体的な取り組みを加速



上期・通期業績予想達成に向け、順調なスタート

. 業績予想サマリー

2010年度 事業運営方針

2010年は「V2012」実現に向けた最初の年

V2012は「自己変革プログラム」

V2012の実現に向けた着実なステップとなる一年にすべく、中期経営計画の達成に向けた3つの施策を常に検証し、更なる改善を図る

5極体制を要とした “グローバル” 事業の拡大

IT/ネットワークの融合領域 “クラウド” 関連事業の拡大

自動車用電池、パーソナル新端末など “新規” 事業の拡大

営業利益1,000億円、当期純利益150億円を目指す

予想値は、2010年7月28日現在（注：5月12日の前回予想から変更はありません）

業績予想サマリー

(単位:億円)

	上期			通期			5/12 予想比
	09年度 実績	10年度 予想(注)	前年 同期比	09年度 実績	10年度 予想(注)	前年度比	
売上高	16,537	15,000	9.3%	35,831	33,000	7.9%	0
営業損益 対売上高比率(%)	377 -	50 0.3%	427	509 1.4%	1,000 3.0%	491	0
経常損益 対売上高比率(%)	499 -	200 -	299	494 1.4%	700 2.1%	206	0
当期純損益 対売上高比率(%)	436 -	360 -	76	114 0.3%	150 0.5%	36	0
1株当たり 当期純損益(円)	21.60	13.85	7.75	5.04	5.77	0.73	0.00
フリーキャッシュフロー	538			936	500	1,436	0

参考：10年度の為替レート前提 1ドル=90円、1ユーロ=110円

予想値は、2010年7月28日現在(注：5月12日の前回予想から変更はありません)

セグメント別 上期・通期業績予想サマリー

(単位:億円)

		上期 <4～9月>			通期		
		09年度 実績	10年度 予想	前年 同期比	09年度 実績	10年度 予想	前年度比
I T サービス	売上高	3,773	3,800	0.7%	8,663	8,900	2.7%
	営業利益	96	100	4	532	560	28
	営業利益率 (%)	2.5%	2.6%		6.1%	6.3%	
プラットフォーム	売上高	1,662	1,750	5.3%	3,737	3,800	1.7%
	営業損益	135	40	95	17	90	107
	営業利益率 (%)	-	-		-	2.4%	
キャリアネットワーク	売上高	3,086	3,100	0.5%	6,274	6,700	6.8%
	営業利益	124	140	16	313	400	87
	営業利益率 (%)	4.0%	4.5%		5.0%	6.0%	
社会インフラ	売上高	1,297	1,350	4.1%	3,166	3,150	0.5%
	営業利益	27	30	3	217	150	67
	営業利益率 (%)	2.1%	2.2%		6.9%	4.8%	
パーソナルソリューション	売上高	3,623	4,000	10.4%	7,377	8,300	12.5%
	営業利益	82	40	42	189	160	29
	営業利益率 (%)	2.3%	1.0%		2.6%	1.9%	
その他	売上高	3,096	1,000	67.7%	6,614	2,150	67.5%
	営業損益	376	0	376	449	40	489
	営業利益率 (%)	-	0.0%		-	1.9%	
合計	消去・配賦不能	195	220	25	275	400	125
	売上高	16,537	15,000	9.3%	35,831	33,000	7.9%
	営業損益	377	50	427	509	1,000	491
	営業利益率 (%)	-	0.3%		1.4%	3.0%	

予想値は、2010年7月28日現在

ITサービス事業の状況

SI事業の拡大と共にサービス事業、グローバル事業の拡大、新規事業創造に注力



業種	概況
官庁	「新成長戦略」や「新たな情報通信技術戦略」に基づく制度改革・制度設計の進展に向けた提案活動に注力。
公共・医療	税収減や来年度以降の法改正対応等を控え、新規IT投資は抑制傾向。クラウドへの移行を含めた基幹システム再構築、行財政改革対応等への提案に注力。
金融	金融機関の業況判断は改善傾向にあるが、IT投資回復のテンポは緩やか。システム共同化等のサービス提案や次世代営業店端末「NAVUTE」の拡販を強化。
通信・メディア	国内キャリア・メディア共に投資抑制傾向は継続。他方、海外キャリアは投資判断には慎重なもの新規サービス立上げに前向き。グローバルキャリア向けクラウドビジネスやデジタルサイネージ等の新領域に注力。
製造	自動車・電機等の外需型産業で案件の引き合いが増加傾向。新興国市場での需要増に対応した投資が拡大。当社経営システム改革事例をモデルとした「クラウド指向サービスプラットフォームソリューション」等の提案を強化。
流通・サービス	店舗などの消費者に近い現場接点におけるIT投資ニーズは堅調。EC、CRM等の分野での新規サービス提案やPOS販売と連携したグローバル事業を強化。

キャリアネットワーク事業の状況

- 新規事業（ワイヤレスブロードバンドアクセス、サービス&マネジメント）の拡大
- 海外主力事業（パソリンク、海洋システム）の更なる強化、将来事業の開拓
- スリムな収益体質の維持・強化

	概況
国内固定	NGNのエリア展開のための投資一巡の影響はあるが、サービス&マネジメント事業を中心にキャリアへの投資喚起に注力。
国内移動	ワイヤレスブロードバンドアクセス（LTE、WiMAX、フェムトセル）、サービス&マネジメント事業を拡大。スマートフォンの急速な普及に伴うトラフィック急増を受け、キャリアの投資喚起に注力。
海外固定	海洋システムは複数の大型プロジェクトの早期受注と確実な遂行を目指す。
海外移動	パソリンクは新製品投入により競争力を強化。ワイヤレスブロードバンドアクセスなどの新規事業拡大にも注力。

パーソナルソリューション事業の状況

概況	
<p>モバイル ターミナル</p> 	<p>国内市場は09年度に引き続き厳しく、市場規模は前年同期並みを想定。</p> <p>携帯電話事業の統合や新商品の販売強化により増収を見込む。</p>
<p>PCその他</p> 	<p>国内パソコン市場は堅調。市場規模は前年同期比増加を想定。</p> <p>企業市場の回復に伴うビジネス系商品（ビジネスPC・ディスプレイなど）や、購買意欲回復に伴う個人向け高付加価値PC（ブルーレイ・地デジ搭載モデル等）で増収を見込む。</p> <p>Android搭載・クラウド端末「LifeTouch」を開発（7インチ・軽量）。BIGLOBEサービスとの連携や、顧客企業の垂直統合サービス構築に向け、取り組みを強化。</p>

予想は、2010年7月28日現在

グループビジョン2017実現のためのV2012に執着

V2012は
NECグループビジョン2017を
実現するための確実なステップ
としてのマイルストーン

NECグループビジョン2017

人と地球にやさしい情報社会を
イノベーションで実現する
グローバルリーディングカンパニー



17年度イメージ

当期利益 2,000億円

ROE 約15%

(海外比率 約50%)

12年度

当期利益 1,000億円

ROE 10%

(海外比率 25%)

09年度 (実績)

当期利益 114億円

ROE 1.6%

(海外比率 20%)

V2012

Beyond boundaries, Toward our Vision -
(2010 - 2012)

グローバルICT
トップ10を狙う
経営水準

《参考》クラウドの取り組み / 受注事例

業種別サービスを相次ぎ発表

- SaaS型電子カルテシステム
 - 小規模病院向けにSaaS型で電子カルテシステムを提供
- ホテル向けクラウドサービス
 - 宿泊予約システム、顧客管理システムやデジタルサイネージ、音声通信などの機能をサービスとして提供
- 住宅業界向けクラウドサービス
 - 住友林業と協業し、住宅業界向けのSaaSサービスを開始
- 金融機関向けクラウドサービス
 - スミセイ情報システムと協業し、生命保険業務システムを金融機関に提供

劇団四季のチケットレスサービスが稼働開始

- クラウドサービスを活用し、「セキュリティ機能搭載QRコード」に対応したシステムを実現

住友生命に資産運用システムのクラウドサービスを提供



《参考》グローバル展開の取り組み / 受注事例

■ 中近東・アフリカ地域における事業体制の強化

- トルコに NEC Telecommunication & Information Technology Ltd を設立

■ 中国で医療ソリューション事業を開始

- 中聯社と協業し、医療パッケージソフトを共同で開発・販売

■ 韓国でデジタルサイネージ事業を展開

- 韓国の流通業界最大手「新世界グループ」とデジタルサイネージの販売で協業

■ 光海底ケーブルシステム「APCN2」の増設プロジェクトの受注

■ スロベニアの放送事業者からパソリンクを受注

■ 中国の広州白雲国際空港の新ターミナル向けPOS受注



《参考》 新規事業の取り組み

自動車用高性能リチウムイオン二次電池の電極を量産開始

- 自動車用電池を中心とした環境・エネルギー事業を本格展開

中国電力と共同で分散型電源用転送遮断システムのフィールド試験開始

- スマートグリッドの基盤技術検証



クラウド端末「LifeTouch」を顧客と試験活用中

(“Interop Tokyo 2010” に参考出展)

- 企業の顧客向けサービスに最適なユーザインターフェースを実現するAndroid搭載・クラウド端末(今秋発売予定)



軽量
7インチ

Empowered by Innovation

NEC

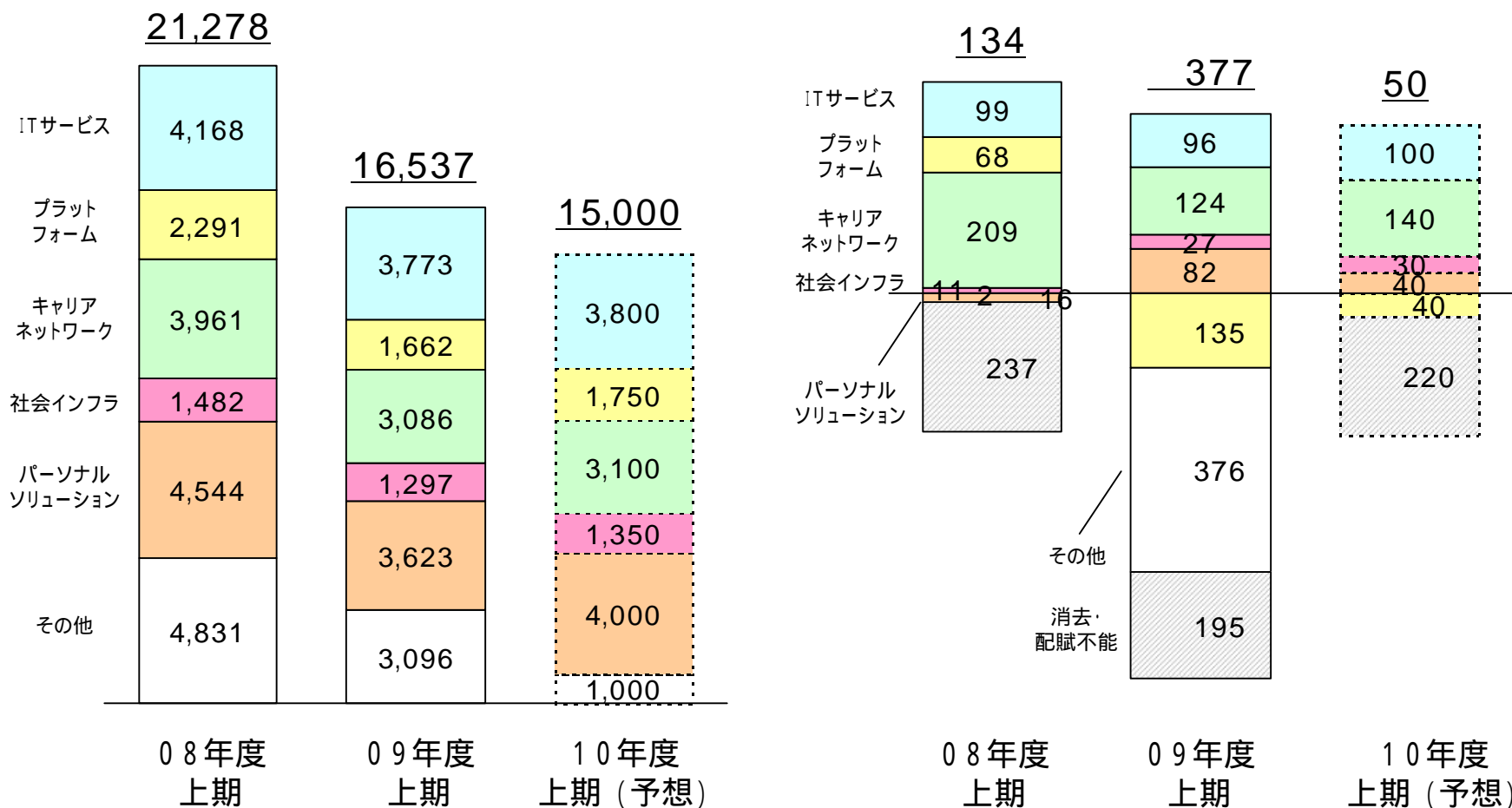
《参考》業績予想（補足）

セグメント別 上期業績予想

(億円)

売上高

営業損益

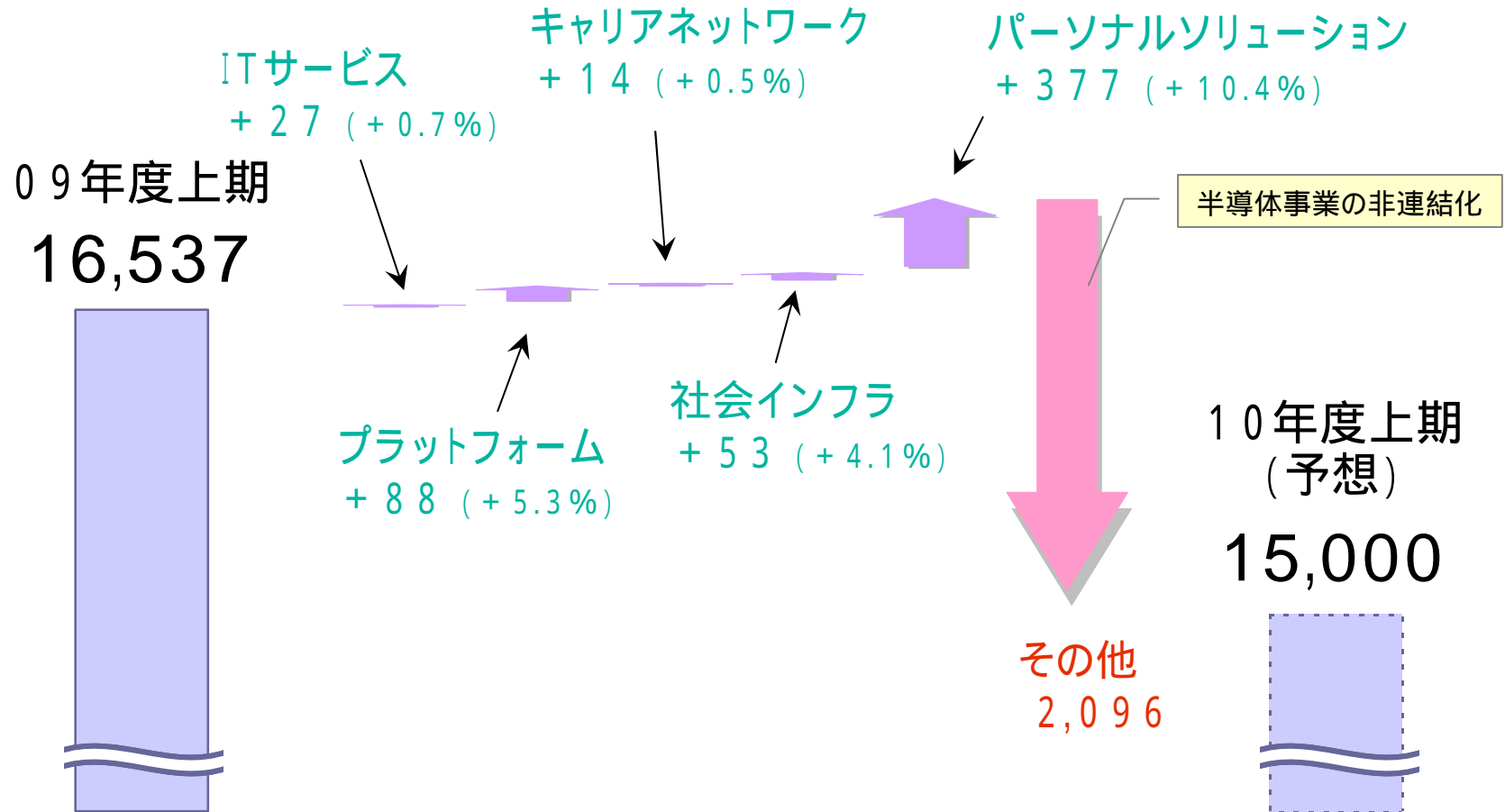


予想値は、2010年7月28日現在

売上高 前年同期比増減

上期予想

(億円)

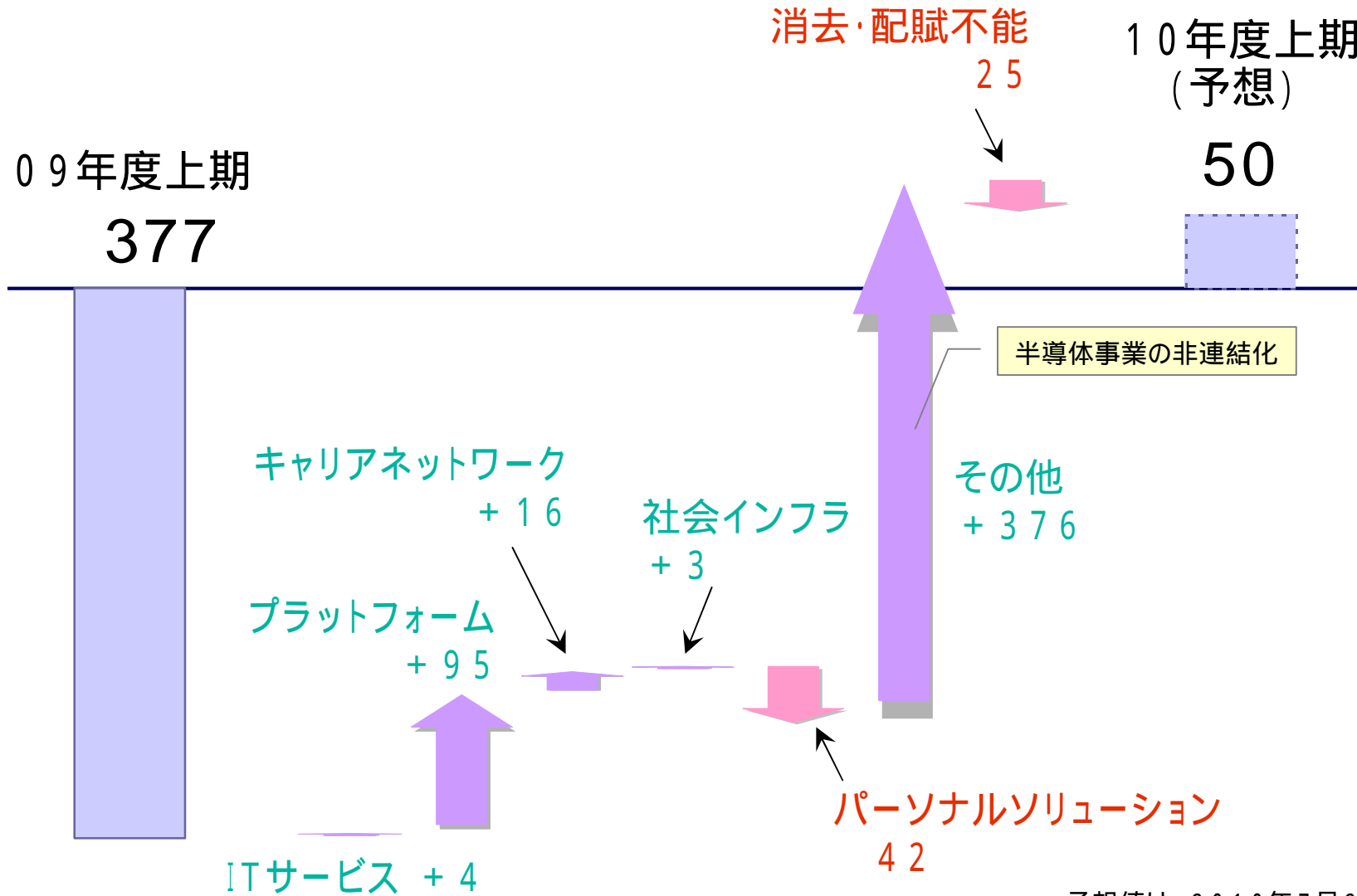


予想値は、2010年7月28日現在

営業利益 前年同期比増減

上期予想

(億円)



予想値は、2010年7月28日現在

当期純利益 前年同期比増減

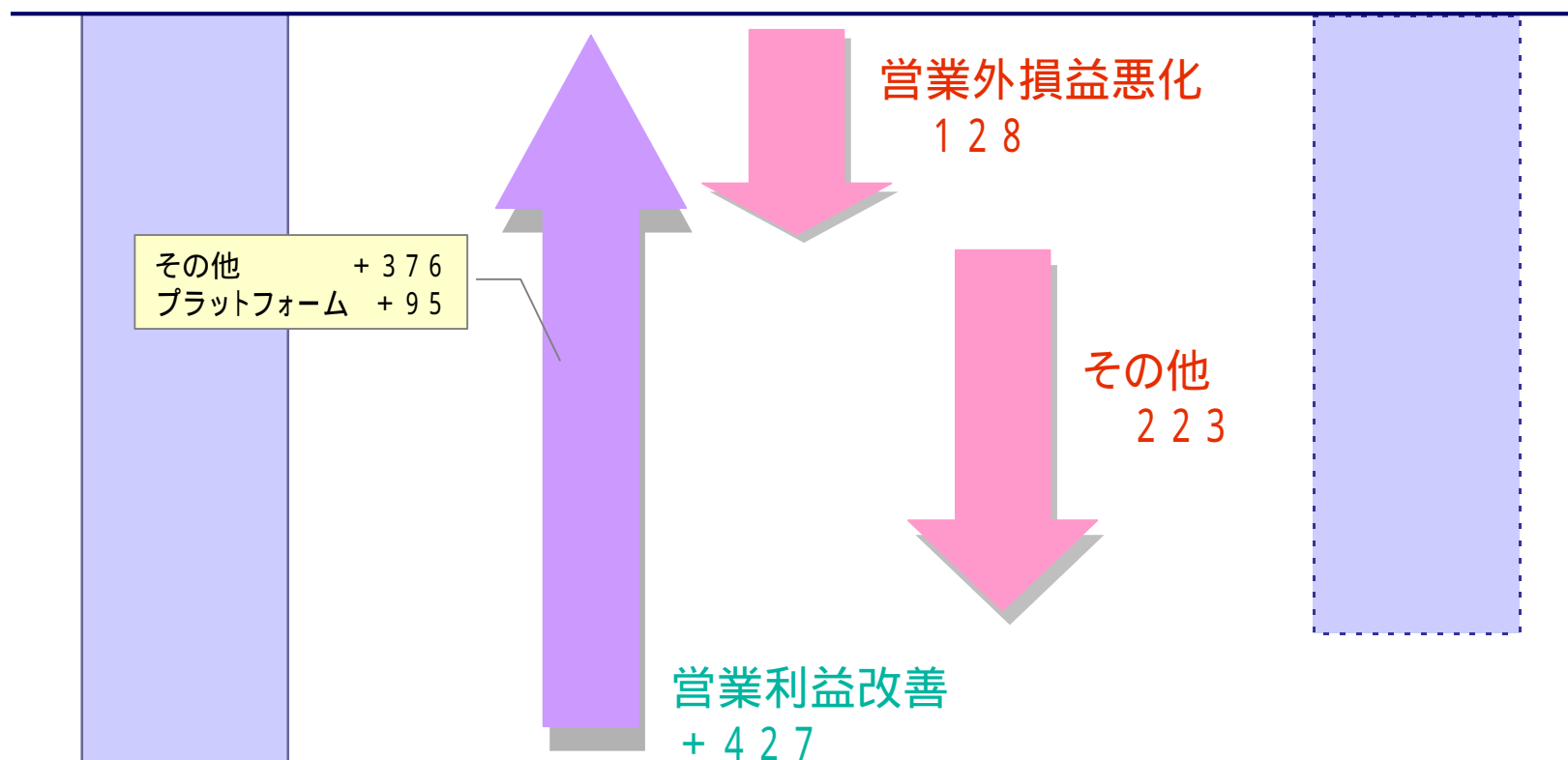
(億円)

09年度上期

436

10年度上期
(予想)

360

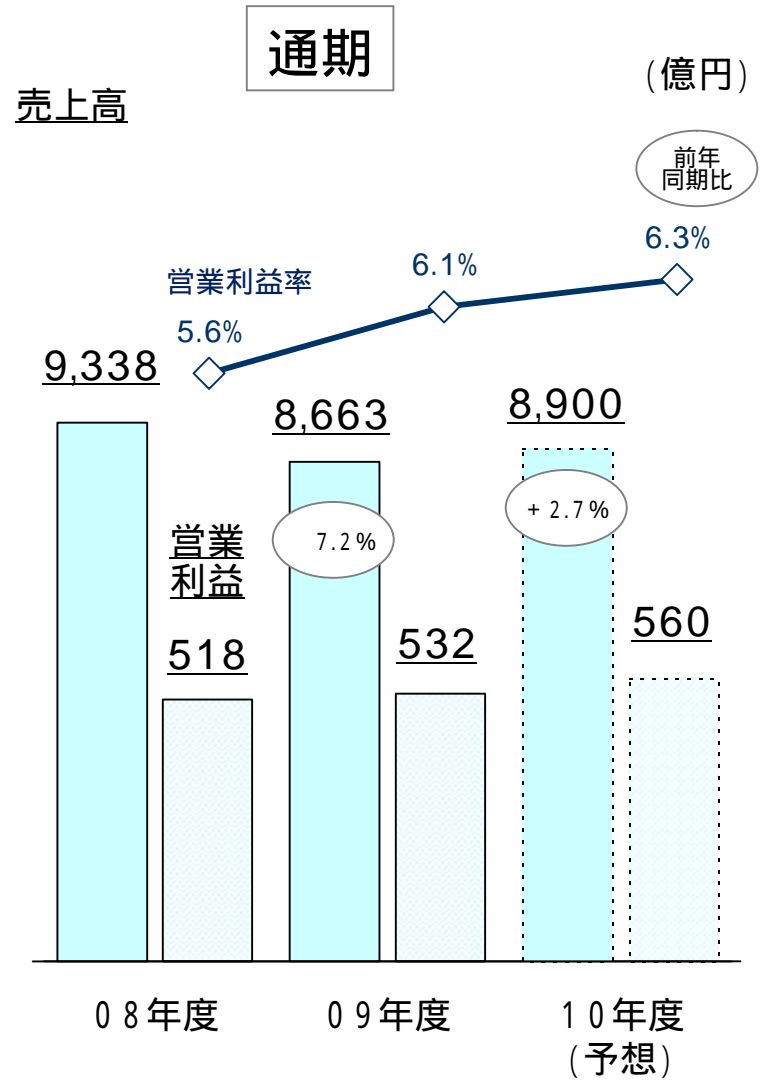
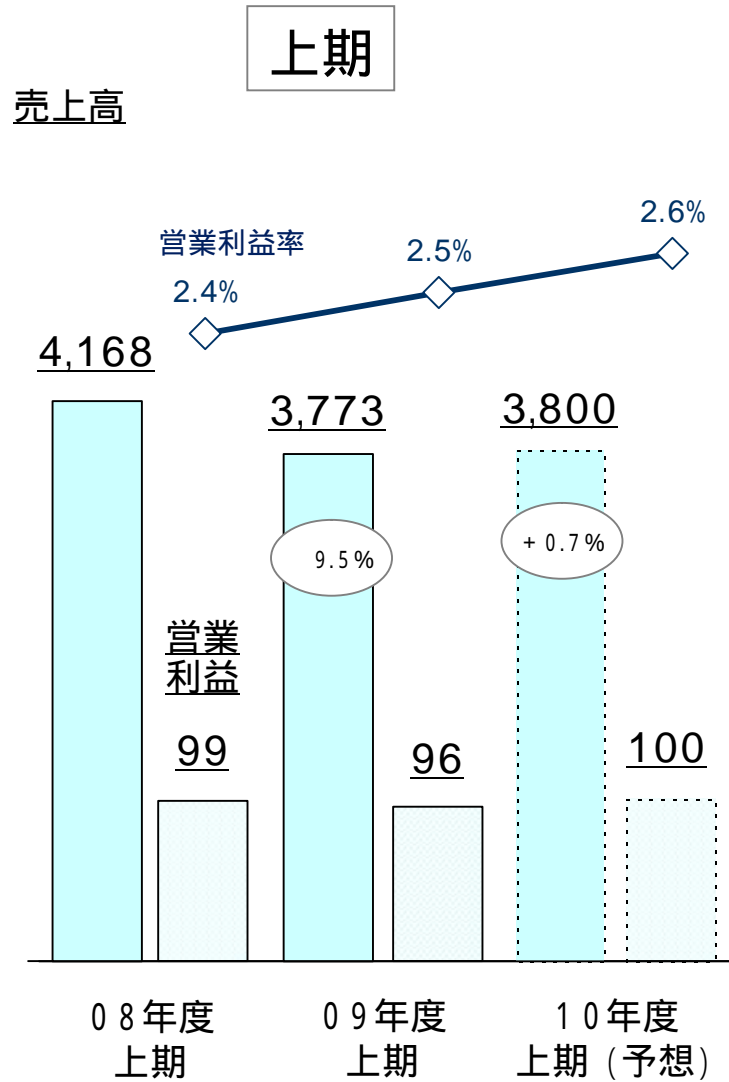


予想値は、2010年7月28日現在

セグメント別の状況

ITサービス事業

予想



予想値は、2010年7月28日現在

ITサービス事業

売上高 3,800億円 (+0.7%)

△ SIサービス：

景気回復に伴う顧客の戦略投資増加を見込み増収を目指す

△ アウトソーシング/サポートサービス：

クラウド指向サービスの展開、SaaSメニューの拡充等により
着実な売上増を目指す

営業利益 100億円 (+4億円)

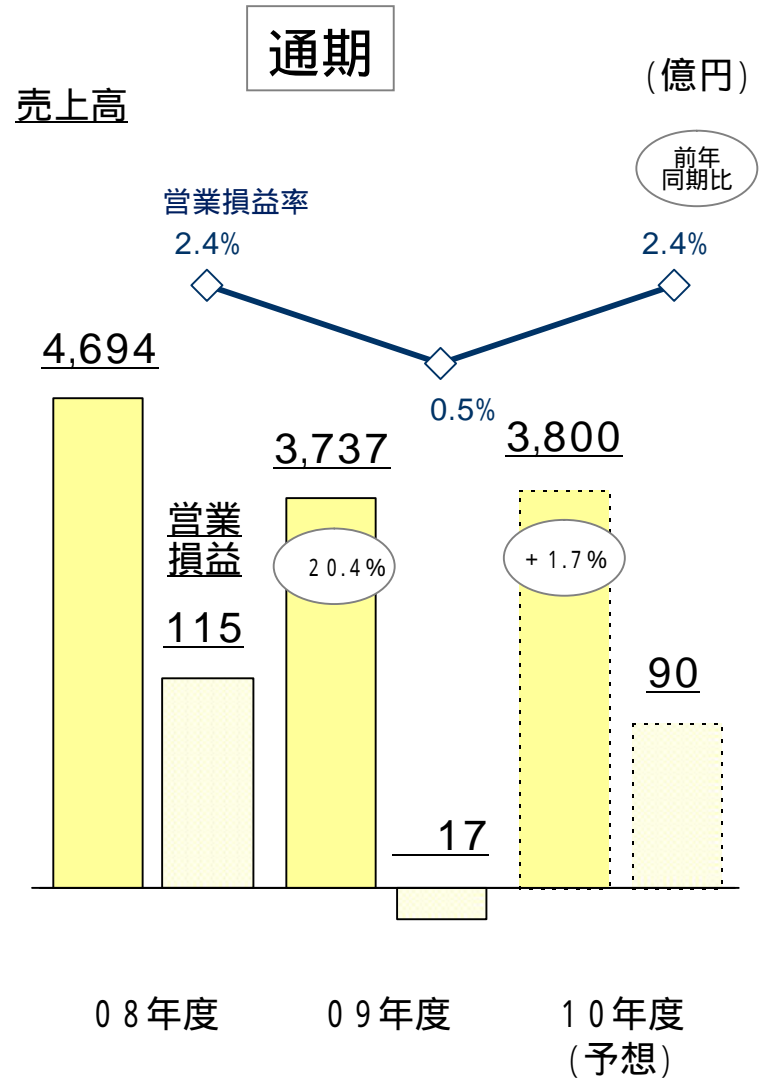
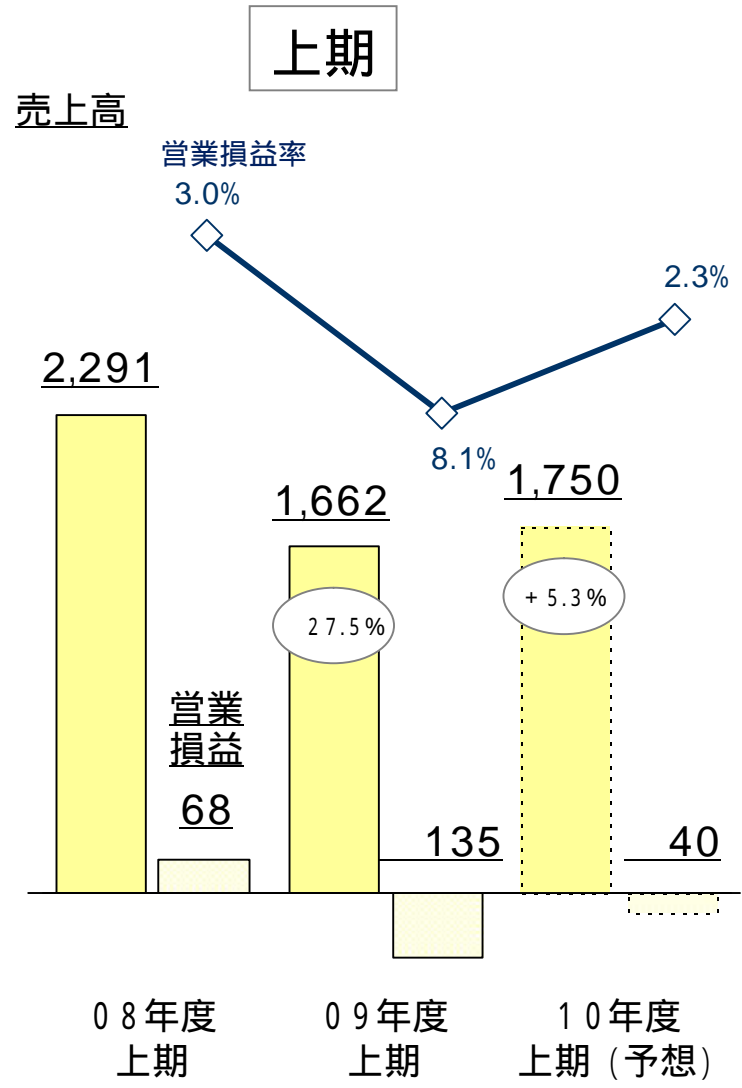
△ 費用削減の徹底やプロジェクトマネジメントの強化などで
前年同期並みの利益を目指す



予想値は、2010年7月28日現在

プラットフォーム事業

予想



予想値は、2010年7月28日現在

プラットフォーム事業

売上高 1,750億円 (+5.3%)

△ ソフトウェア：

仮想化によるシステム統合、クラウド対応も含んだデータセンタ向けに注力し、増収を目指す

▷ ハードウェア：

IAサーバ、UNIXサーバ等の伸長により前年同期並を見込む

△ 企業ネットワーク：

事業環境の改善は緩やかではあるが、コスト削減やグローバル展開に向けた取り組みなど顧客の投資意欲の高い領域に注力し、増収を目指す

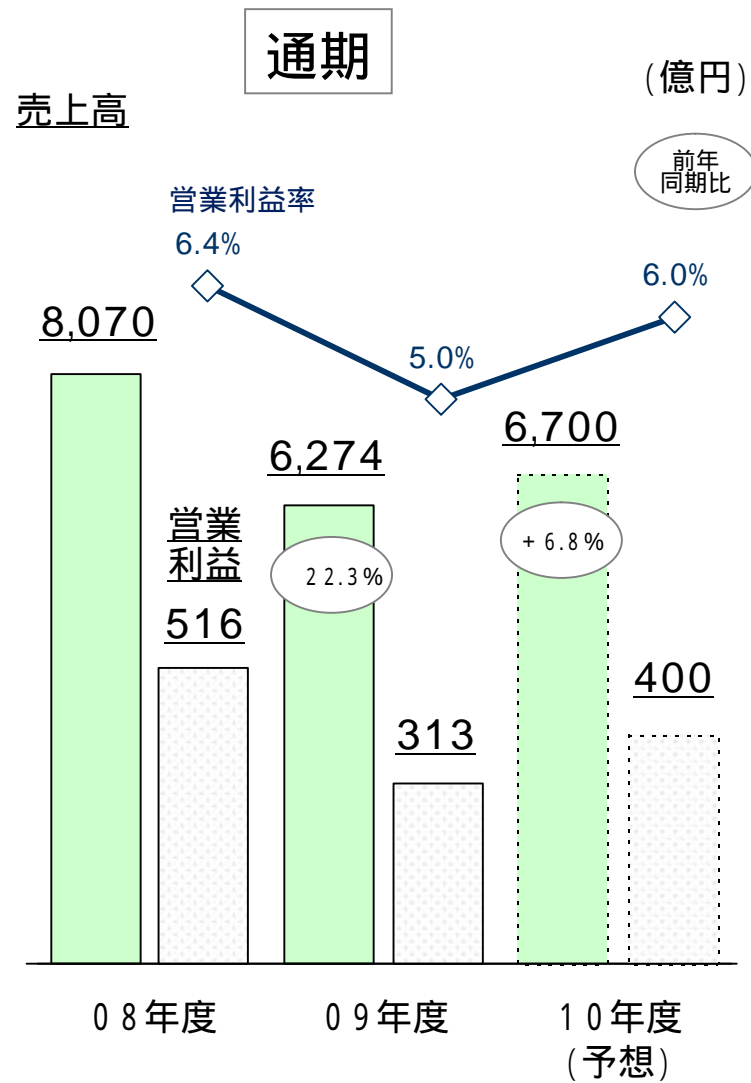
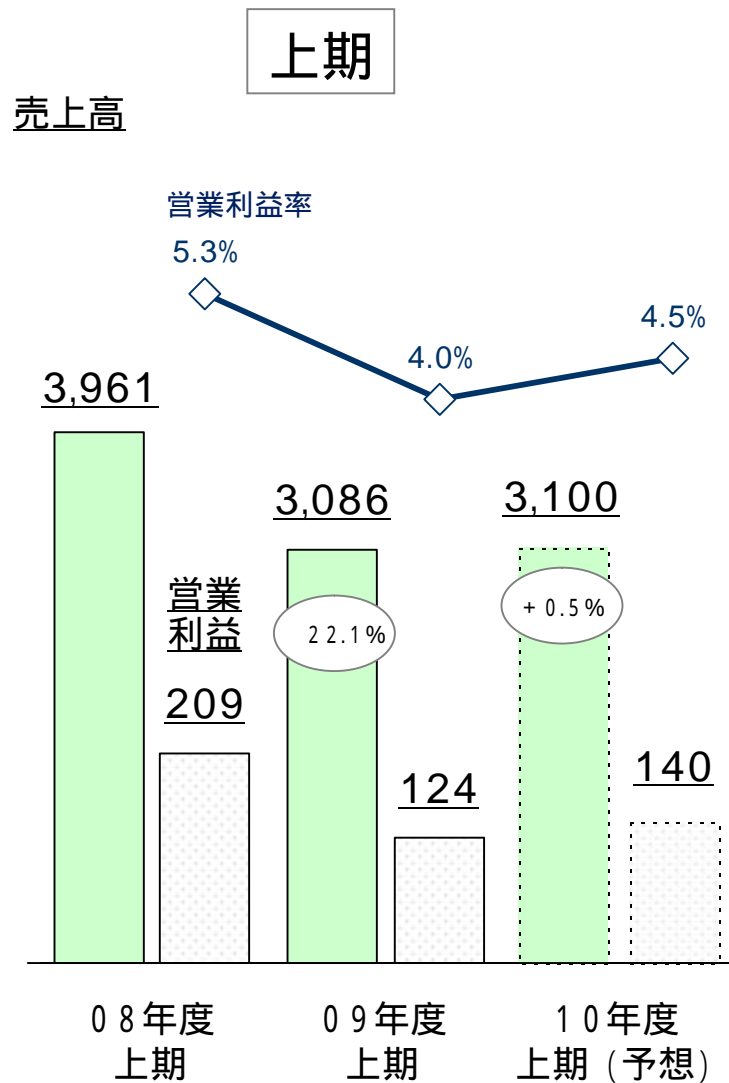
営業損益 40億円 (+9.5)

△ 継続的な費用削減、原価低減により大幅改善を見込む



予想値は、2010年7月28日現在

キャリアネットワーク事業



予想値は、2010年7月28日現在

キャリアネットワーク事業

売上高 3,100億円 (+0.5%)

- △ 国内においては、NGN投資一巡の影響はあるものの、スマートフォンの急速な普及に伴うトラフィック増や新興国のモバイル需要を取り込み、前年同期並みを目指す

営業利益 140億円 (+16億円)

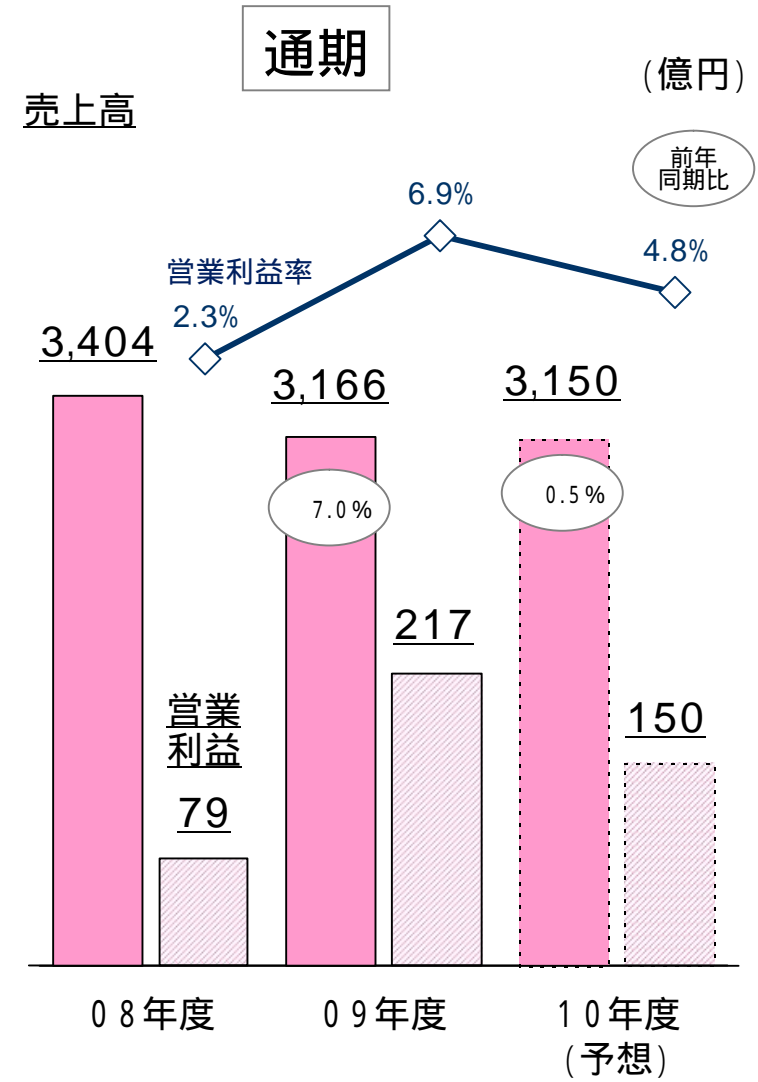
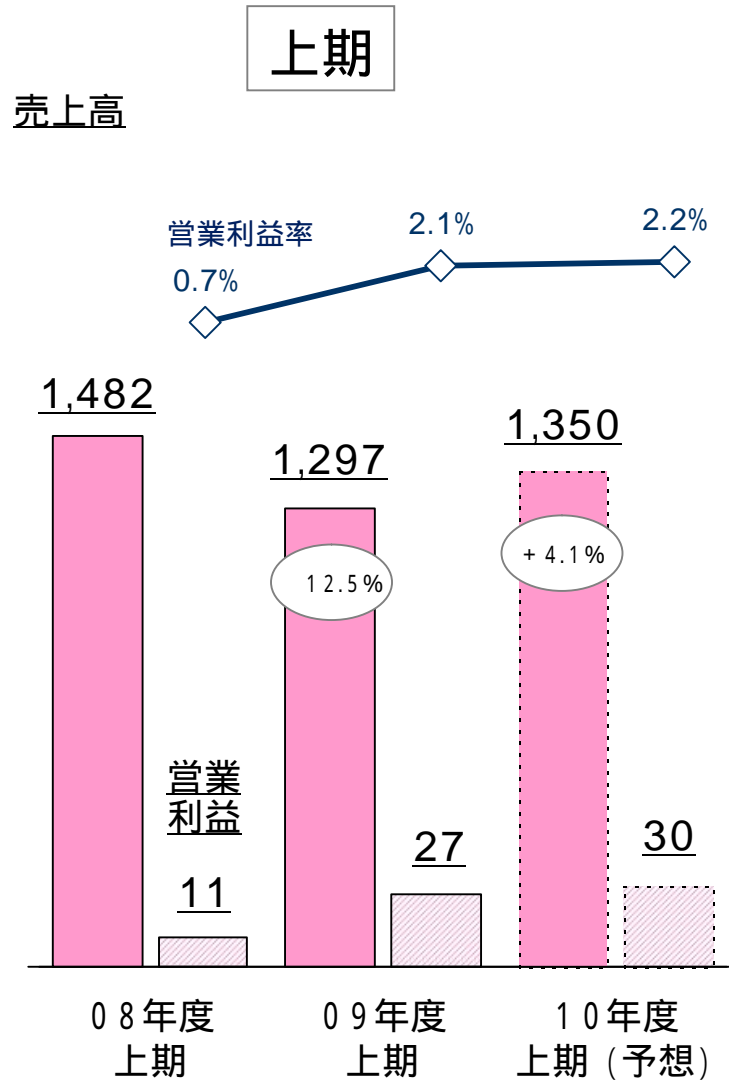
- △ 前年度の固定費削減によるスリムな収益体質の維持・強化により増益を目指す



予想値は、2010年7月28日現在

社会インフラ事業

予想



予想値は、2010年7月28日現在

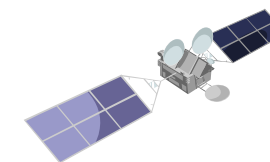
社会インフラ事業

売上高 1,350億円 (+4.1%)

△ 交通、消防など社会システム分野の案件増加により増収を目指す

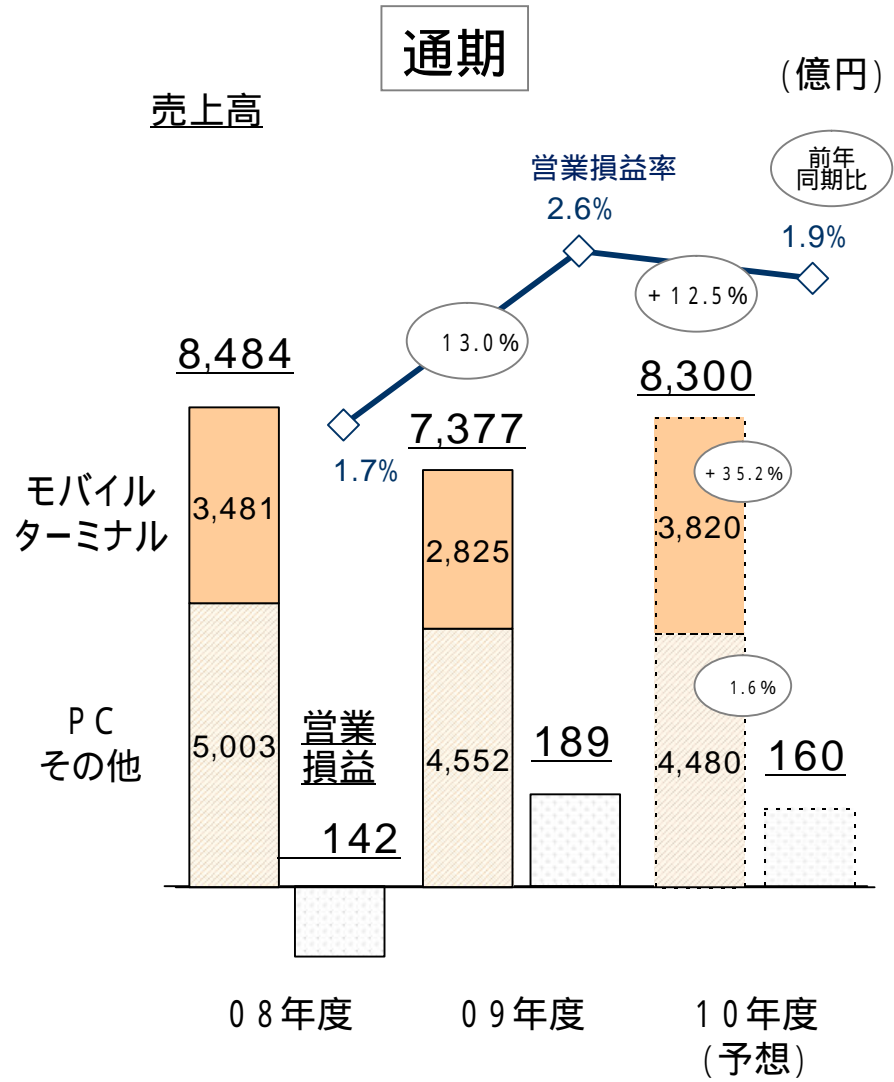
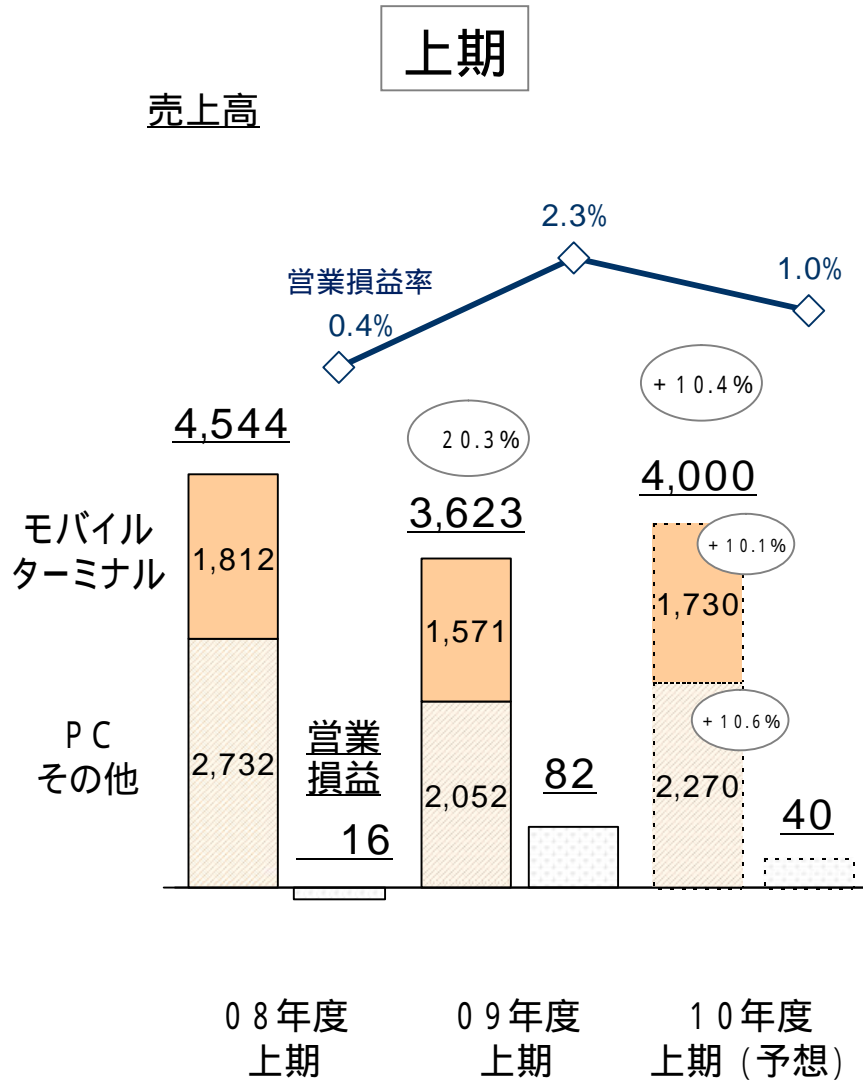
営業利益 30億円 (+3億円)

△ 売上の増加やプロジェクトコスト管理の強化等による原価低減により増益を目指す



予想値は、2010年7月28日現在

パーソナルソリューション事業



予想値は、2010年7月28日現在

パーソナルソリューション事業

売上高 4,000億円 (+10.4%)

△ モバイルターミナル：

携帯電話事業の統合や新商品の販売強化により増収を見込む

△ PCその他：

1Qに引き続き、ビジネス系商品（ビジネスPC・ディスプレイなど）や個人向け高付加価値PCを中心に増収を見込む

営業利益 40億円 (42億円)

▽ モバイルターミナル・PCその他ともに、固定費他の費用削減や開発効率化を進めるも、LifeTouch やスマートフォンなど新端末開発費用の増加により減益を見込む



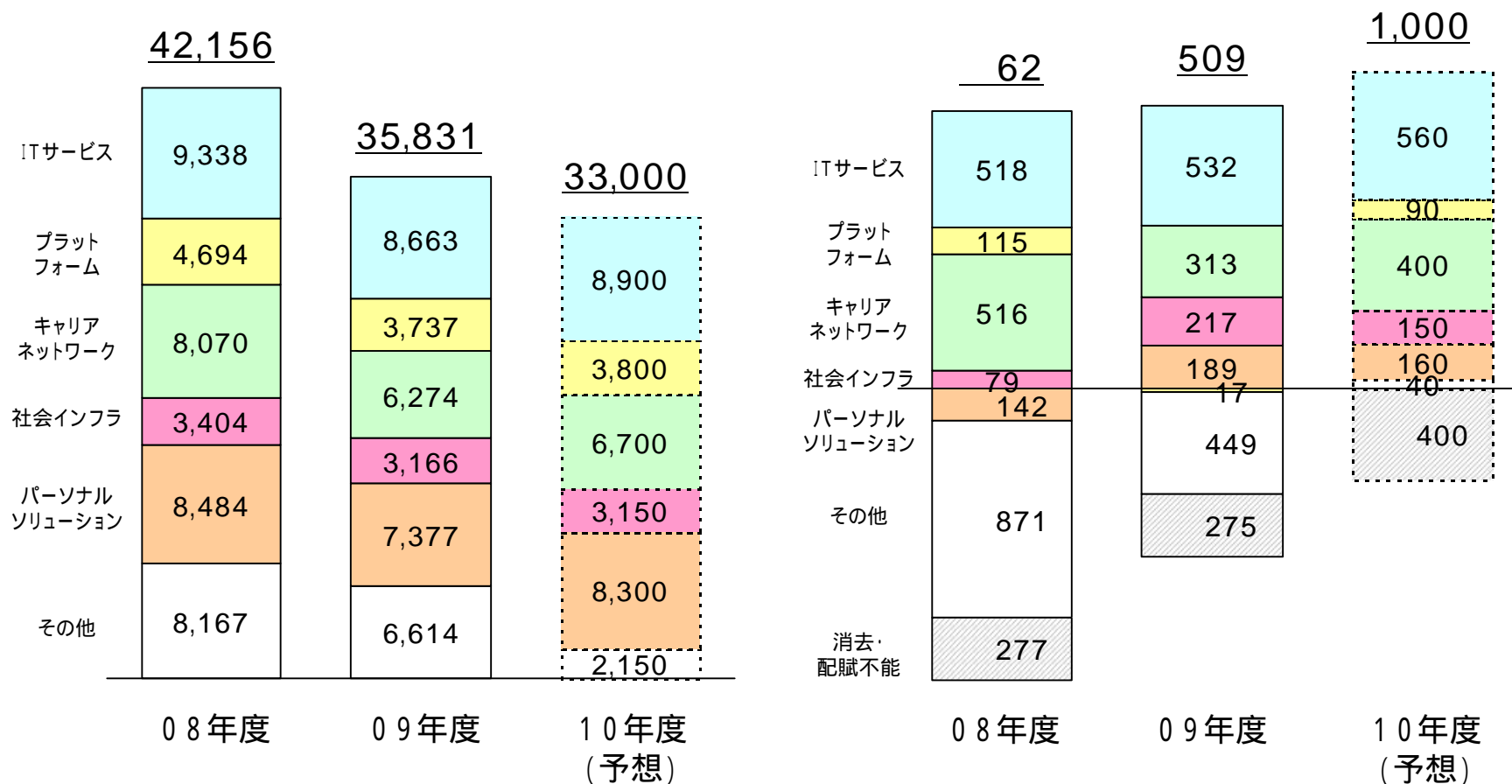
予想値は、2010年7月28日現在

セグメント別 通期業績予想

(億円)

売上高

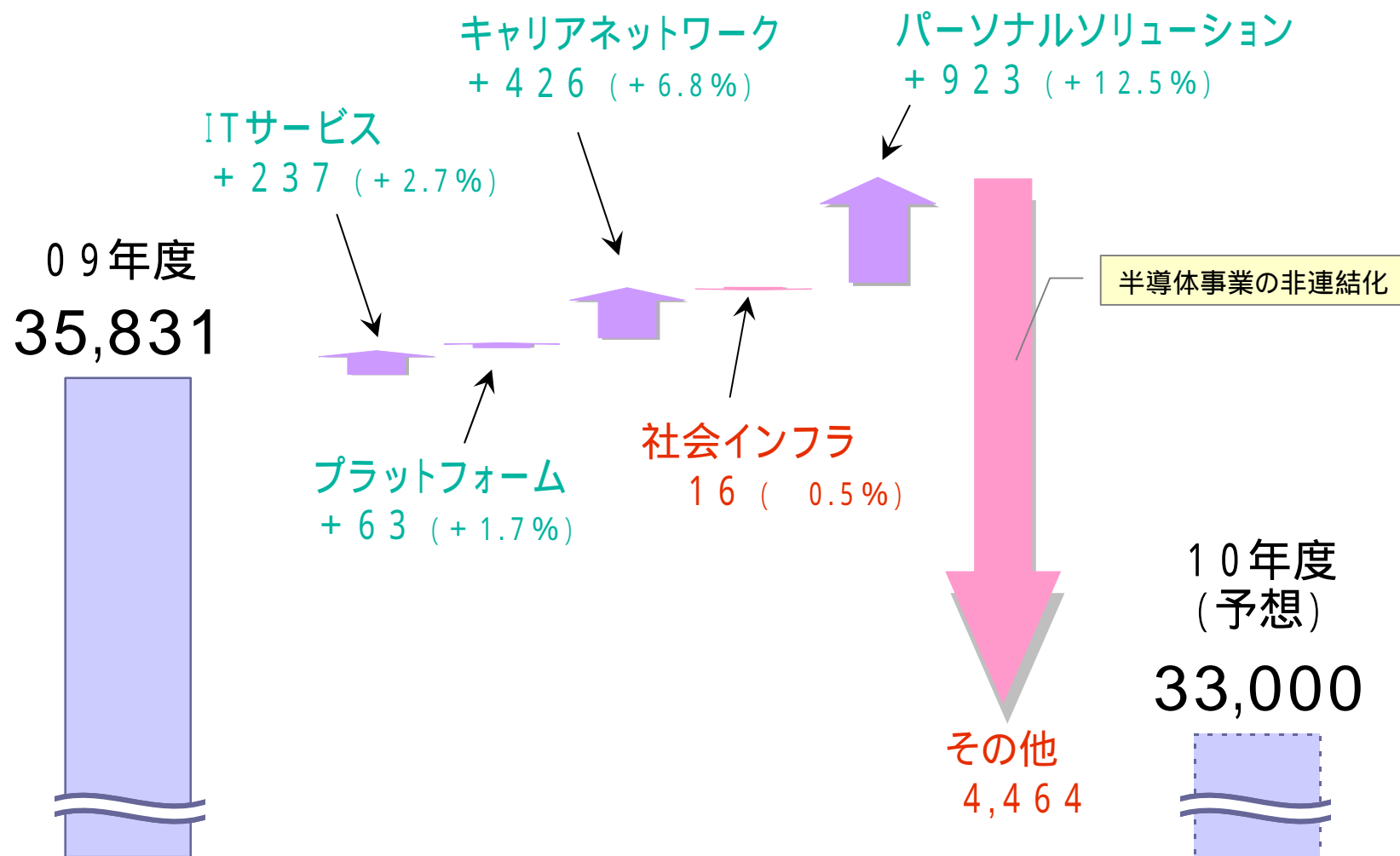
営業損益



予想値は、2010年7月28日現在

売上高 前年度比増減

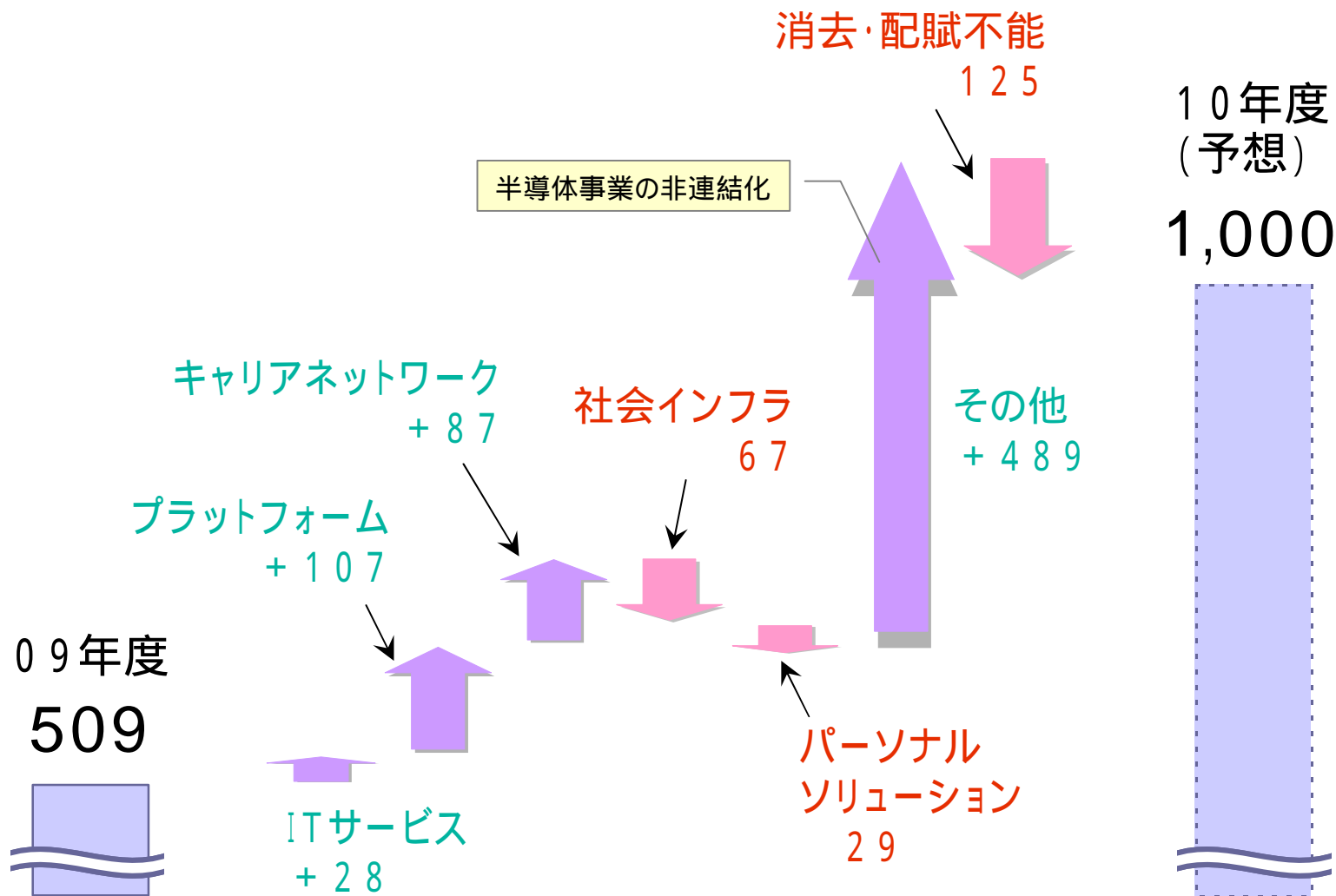
(億円)



予想値は、2010年7月28日現在

営業利益 前年度比増減

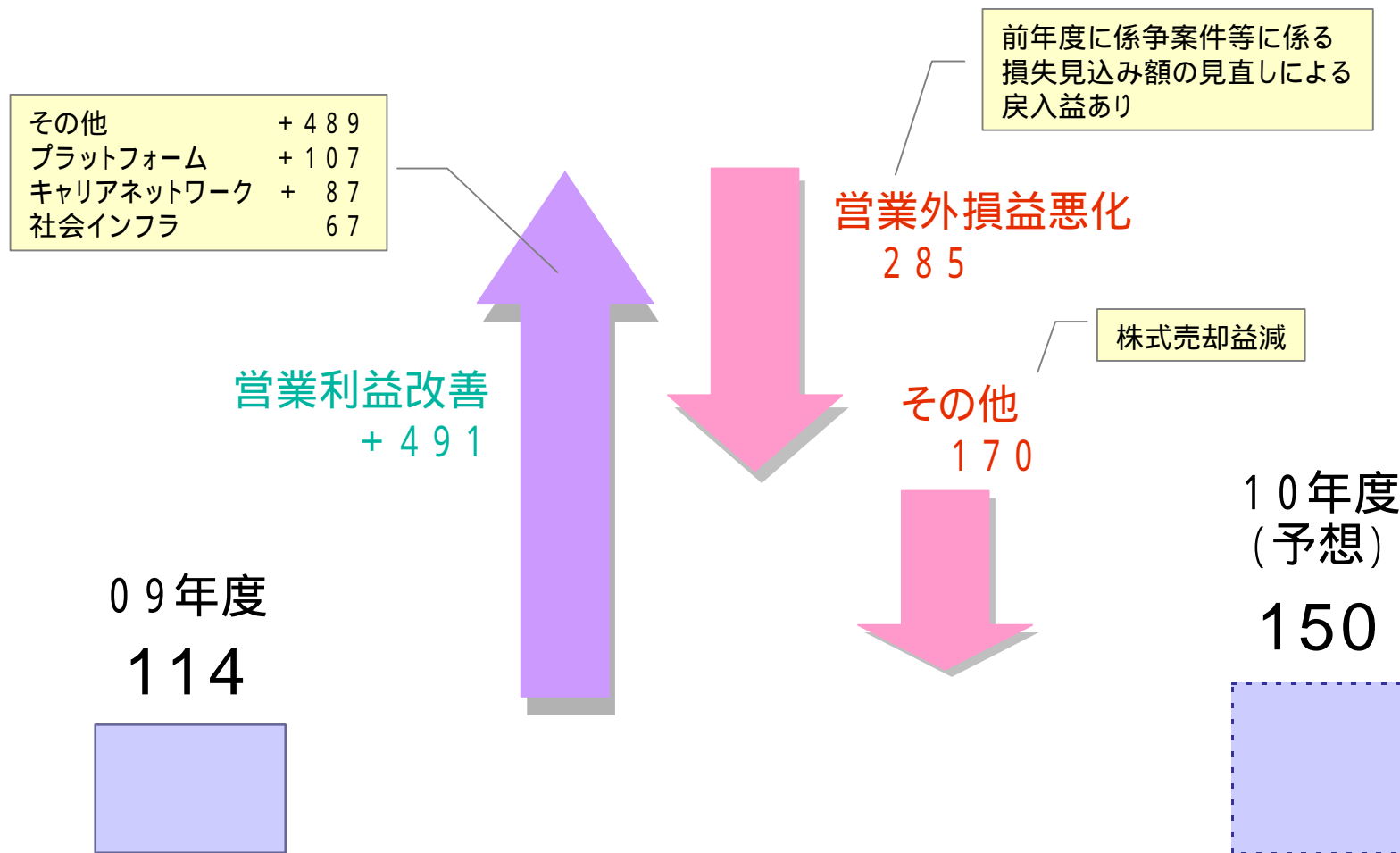
(億円)



予想値は、2010年7月28日現在

当期純利益 前年度比増減

(億円)



予想値は、2010年7月28日現在

《参考》 財政状態に関する経営指標

(単位:億円)

	10/3末	10/6末	10/3末比
総資産	29,376	25,108	4,268
純資産	9,319	8,433	886
有利子負債残高	7,295	6,231	1,064
自己資本	7,909	7,256	653
自己資本比率 (%)	26.9%	28.9%	2.0pt
D/Eレシオ (倍)	0.92	0.86	0.06pt
ネットD/Eレシオ (倍)	0.50	0.55	0.05pt

《参考》 設備投資額と主な費用の推移

(単位:億円)

	08年度 実績	09年度 実績	前年度比	10年度 予想	前年度比	5/12 予想比
設備投資額	1,031	831	19.4%	750	9.7%	0
減価償却費	1,336	1,112	16.8%	750	32.6%	0
研究開発費	3,465	2,760	20.3%	2,000	27.5%	0

(単位:億円)

	09年度 1Q実績	前年 同期比	10年度 1Q実績	前年 同期比
研究開発費	718	21.4%	469	34.7%



予想値は、2010年7月28日現在

《参考》海外売上高

(単位:億円)

		第1四半期 <4 ~ 6月>			前年度比	主な国または地域
		09年度 実績	10年度 実績			
ア シ ア	売上高	709	382	46.2%	中国、台湾、インド、 シンガポール、インドネシア	
	連結売上高比率 (%)	9.1%	5.7%			
欧 州	売上高	410	240	41.4%	イギリス、フランス、オランダ、 ドイツ、イタリア、スペイン	
	連結売上高比率 (%)	5.3%	3.6%			
そ の 他	売上高	520	520	0.1%	アメリカ	
	連結売上高比率 (%)	6.7%	7.8%			
合 計	売上高	1,639	1,142	30.3%		
	連結売上高比率 (%)	21.1%	17.1%			

売上高は顧客の所在地を基礎とし、国または地域に分類しています。

《参考》 主要な新製品・新ソリューション

(発表日)

- コンテンツシェアサービスを実現するネットワーク基盤ソフトウェアを開発 (7/9)
 - ホテル向けのサービスをネットワーク経由で提供するホテル総合クラウドサービスを発売 (6/23)
 - バックアップストレージ「iStorage HSシリーズ」の新製品を発売 (6/16)
 - コンピュータウイルスなどを用いた標的型攻撃を防止する「セキュリティ可視化ソリューション」を提供 (6/8)
 - 処理性能を従来比最大で約50%向上したIAサーバ「Express5800シリーズ」新モデル4機種を発売 (6/7)
 - 設置面積半減と20%の省電力化を実現した基幹業務サーバ ACOSシリーズ「i-PX9000」の新製品を発売 (5/26)
 - データセンター向け省電力サーバ「Express5800/ECO CENTER」ラインナップ強化 (5/17)
 - 臨床検査センター国内最大手の株式会社エスアールエルと「病理画像診断支援システムe-Pathologist」を実用化 (5/17)
 - RFID機能を搭載した携帯電話によるクラウドサービスの実現 ~ KDDIとの共同開発で平成22年度内の提供開始を予定 ~ (5/11)
 - 小規模病院向け電子カルテシステムを SaaS型で提供する「MegaOakSR for SaaS」発売 (5/10)
 - 統合エンタープライズサーバ「NX7700iシリーズ」の新製品発売 (4/27)
 - クラウド基盤への対応を強化した「スケーラブルHAサーバ」の新製品を発売 (4/9)
 - SaaS型文書管理サービス「InfoFrame Document Management Service」の提供開始 (4/6)
 - 仮想PC型シンクライアントシステムの強化 ~ 初期導入コストを従来比約30%低減 ~ (4/2)
-
- TV機能搭載モデルの拡大など、個人向けPC「LaVie」「VALUESTAR」シリーズのラインナップを一新 (6/8)
 - 回線側も宅内側も無線接続でインターネットが利用できるダブルワイヤレスのホームWiMAXルータ「AtermWM3400RN」を発売 (6/3)
 - 3Dの立体表示を実現し、臨場感あふれる映像や画像を体感できる省スペース一体型PC「VALUESTAR N」の発売 (5/27)
-
- クラウド向けアプリケーションを効率的に開発する方式を実現 ~ 設計から運用まで一貫性のある構築方式を実現 ~ (7/6)
 - クラウド環境においてIT資源とネットワーク資源を統合制御できる技術を開発 (7/1)
 - 携帯電話の動画撮影で発生する雑音を抑圧する技術を開発 ~ 「docomo PRIME series(TM) N-04B」に搭載 ~ (6/11)
 - マルチベンダによる次世代伝送装置間の相互接続検証に成功 (6/9)
 - モバイル網やインターネットの映像配信において、高品質な視聴を実現する映像配信制御技術を開発 (6/9)
 - 瞬時に違法コピー動画を発見できる映像識別技術を開発 ~ 国際標準規格(MPEG-7)に採用 ~ (5/7)
 - IT機器の冷却電力を半減する冷却モジュールを開発 ~ 相変化冷却を利用し、データセンターの省エネ実現に向けて ~ (4/15)



ホテル総合クラウドサービス
(利用イメージ)



VALUESTAR N

《参考》 主要な広報発表

(発表日)

[受注/納入など]

- 光海底ケーブルシステム「APCN2」の増設プロジェクトを受注 (7/7)
- 放送番組センターの「放送ライブラリー」でNECの構築した「番組視聴・情報システム」が稼動開始 (7/6)
- NTTドコモ向けにLTEに対応した基地局用の屋内無線装置を出荷 (6/30)
- RFIDを活用した医療器具のリアルタイム所在管理システムと、医療用冷凍庫の温度管理システムをブラジルの病院に納入 (6/28)
- 中国三大空港のひとつである広州白雲国際空港の新ターミナル向けPOSシステムを受注 (6/18)
- NECとアビームコンサルティングが、帝人の全社会計システム刷新を支援 (5/24)
- エクセディ社より次期基幹システムプロジェクトを受注 ~ グローバル会計システムのクラウドサービス提供 ~ (5/11)
- アジア最大級の通信事業者シンガポールテレコム(LTE)トライアルに参加 (5/7)
- NTTドコモからLTE 1.5GHz帯光張出し無線装置(RRE)開発・製造ベンダーに選定 (4/28)
- オランダTNT Postから郵便物自動選別取揃え押印機を受注 ~ 11月の出荷に向けて生産に着手 ~ (4/23)
- 紀伊半島沖海洋観測システムを JAMSTECへ納入 ~ より精度の高い地震、津波観測に貢献 ~ (4/15)

[新事業など]

- 分散型電源用転送遮断システムのフィールド試験開始 ~ スマートグリッドの基盤技術の検証 ~ (7/6)
- 地域医療連携ソリューション事業で、NEC・三洋電機・CSIが協業 (6/25)
- NECとCA Technologies、アプリケーション性能管理ソフト分野での協業を強化 (6/17)
- 中国で医療ソリューション事業を開始 ~ 中国ローカルベンダとの協業により事業展開を加速 ~ (5/24)
- 韓国の流通業界最大手の新世界グループとNECがデジタルサイネージ分野で販売提携 (5/17)
- 生体認証技術分野のグローバル事業展開加速のためにインドに「NECバイオメトリクスエクセレンスセンター」を設置 (5/12)
- ヨーロッパに通信事業者向けクラウドビジネスを推進する「ヨーロッパクラウドコンピテンスセンター」を設置 (5/6)
- オリンパスとNEC、病理画像診断支援ソリューション分野において技術・販売提携 (4/26)

[経営、提携・新会社設立・事業再編など]

- 人事サービス業務の中国オフショア活用 (7/12)
- セグメントの変更のお知らせ (7/6)
- 中近東・アフリカ地域における事業体制の強化 ~ トルコ新会社を中心に営業活動を加速 ~ (6/16)
- 無担保普通社債の発行 (5/27)
- グローバル事業体制の強化 (4/6)
- 防衛分野向け通信機器事業を担当する関係会社4社の合併 (4/1)



放送ライブラリー
検索・視聴ブース



広州白雲国際空港
POSシステム

< 将来予想に関する注意 >

本資料には日本電気株式会社および連結子会社（以下NECと総称します。）の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが金融商品取引所や関東財務局長等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー（safe-harbor）ルールに準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いいたします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご了承ください。実際の結果に影響を与える要因には、(1)NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2)市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3)激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4)NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5)NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6)市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7)為替レート（特に米ドルと円との為替レート）の変動、(8)NECが保有する上場株式の減損をもたらす株価下落など、株式市場における好ましくない状況や動向、(9)NECに対する規制当局による措置や法的手続きによる影響等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、有価証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、有価証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、有価証券の募集または売出しを行うことはできません。

(注)

当社の連結財務諸表作成に関する会計基準は「日本会計基準」を採用しています。

年度表記について、2008年度は2009年3月期、2009年度は2010年3月期（以下同様）を表しています。